

衆議院第八十四回帝國議會昭和十九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案外十件

委員會議錄(速記)第三回

出席委員左ノ如シ	大藏省理財局長 氏家 武君	昭和十九年一月二十五日(火曜日)午前十時 二十分開議
委員長 中村 梅吉君	大藏省銀行保険局長 山際 豊君	
理事泉 國三郎君 理事田中伊三次君	專賣局長官 濱田 幸雄君	
理事古田喜三太君	專賣局理事 稲森 實君	
安藤 覚君	專賣局理事 濱田 德海君	
北村又左衛門君	專賣局理事 深澤 家治君	
白川 久雄君	食糧管理局長 湯河 元威君	
田中 藤作君	農商省農政局長 石井英之助君	
田下 政治君	本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ	正道君
中埜半左衛門君	昭和十九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案(政府提出)	國有財產整理資金特別會計法外三法律ノ廢止ニ關スル法律案(政府提出)
西川 貞一君	農業家畜再保險特別會計法案(政府提出)	臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)
木領信治郎君	簡易生命保險及郵便年金特別會計法案(政府提出)	戰時喪失無記名國債證券臨時措置法案(政府提出)
松浦 伊平君	學校特別會計法案(政府提出)	(政府提出)
前田 善治君	厚生保險特別會計法案(政府提出)	
桃原 茂太君	○中村委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス	
出席國務大臣左ノ如シ	○田下委員 資料ノ提出ニ付キマシテ御願ヒ致シマス、健康新保險ニ關スル共濟組合ハ互助會ト云フヤウナモノガ非常ニ數ガ多イノデアリマス、其ノ種類ト、サウンシテ出来マシタラバ其ノ各組合ガ取扱ヒマシテ、金額ニ付キマシテ、資料ヲ御提出下サルヤウニ御取計ラヒラ願ヒタイト思ヒマス	
大藏大臣 賀屋 興宣君	○中村委員長 政府ニ申上ゲマスガ、審議日數ヲ出来ルダケ短縮シタイト思ヒマスカ	
出席政府委員左ノ如シ	出席	作業會計法外十法律中改正法律案(政府提出)
大藏次官 谷口 恒二君	臺灣事業用品資金特別會計法案(政府提	

付託議案	昭和十九年度一般會計歳出ノ財源 ニ携ツル等ノ爲ノ公債發行ノ關ス
学校特別會計法案(政府提出)	法規案(政府提出)第一號
厚生保険特別會計法案(政府提出)	法規案(政府提出)三號
農業家存貯保險特別會計法案(政 府提出)第五號	法規案(政府提出)第四號
簡易生命保險及郵便年金特別會計 法案(政府提出)第六號	法規案(政府提出)第五號
臺灣事業用品資金特別會計法案	法規案(政府提出)第七號
作業會計法外十法律中改正法律案	法規案(政府提出)第八號
國有財產整理資金特別會計法外三 法律ノ廢止二關スル法律案(政府 提出)第九號	法規案(政府提出)第一號
臨時資金調整整法中改正法律案(政 府提出)第一號	法規案(政府提出)第二號
戰時喪失無記名國債證券臨時指置 法案(政府提出)第一號	法規案(政府提出)第三號
烟草賣法及鹽賣法中改正法律 案(政府提出)第一三號	法規案(政府提出)第二號

二千億ヲ突破スルコトニナルト、此ノ公債ノ飛躍的ナ増加ニ對シテ國民ハ一體ドウ云フ考ヘラ持ツカト云フコトガ先づ問題ダト思フノデアリマス、ソコデ此ノ公債ノ限界トデモ言フベキ問題ノ二、三ニ付テ、當局ノ所信ヲ伺フコトガ此ノ際適切ダト思フノデアリマス、先づ公債ノ限界トシテ考ヘラレルモノハ、公債ト租稅ノ歲出ニ於ケル比率ノ問題デアリマス、最近我國ノ五箇年ノ統計ヲ見マスルト、公債收入ハ漸次膨脹致シマシテ、昭和十四年ノ統計ヲ見ルト、五八%デアツタノガ、今年ニ於テハ六六%ト上昇致シテ居リマス、租稅ノ率ハ三四%カラ二六%ニ下降致シテ居ルノデアリマス、此ノ公債ノ増加、此ノ租稅ノ率ノ低下ト云フコトガ、國民ニ如何ナル感ジラ興ヘルカ、同時ニ其ノ増加ノ比率ハ、公債ニ於テ四・六倍、租稅ニ於テ三倍ト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、斯クノ如キ情勢カラ、或ハ悲觀的ナ考ヘラスルモノガ國民ノ中ニナイデモナイト言ハナクテハナリマセス、私ハ斯様ナ悲觀ハ當ラナイモノダト信ジマスガ、此ノ點ニ付テ當局ハ一體ドウ云フ御考ヘラ持ツテ御出デニナルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、私ノ樂觀論ハ前ノ所謂歐洲第一次大戰ニ於ケル所ノ各國ノ軍事費財源ニ付テ考ヘテ見ルト、「ドイツ」ノ如キハ九四%ヲ公債ニ置イテ居ツタ、又「フランス」ニ於テハ全部デアツタト聞イテ居リマス、又英國ニ於テハ八十%デアツタト思フノデアリマス、今次ノ大戰ニ於ケル統計ハマダ詳力ニ致シテ居リマセヌガ其ノ稅ナンカノ關係カラ言ヘバ、ヤハリ六五%乃至七〇%ト云フノガ今ノ現狀デハナイカト思ヒマス、斯

モ悲觀スベキデハナイ、否、前途尙洋洋タルモノガアルノデハナイカ、苟クモ戰爭ノ需要ガアル限り、國防生産性ノアル限りハ、公債ガ如何ニ殖エテモ、公債政策ハ悲觀スベキ必要ガナイノデハナイカト云フ感ジガスルノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル當局ノ所信ヲ先づ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス。

○田中(豐)政府委員 只今御質問ノ最近我ガ國ニ於ケル戰費ノ増大、ソレニ連レマシテ公債發行額ヘ非常ニ累増致シ、一面全歲出ニ對スル租稅收入ノ割合ヘ漸次低下シテ居ルト云フコト、竝ニソレニ伴フ公債ノ前途、或ハ限界ト云フコトニ對スル御質疑デアツタノデアリマスガ、御話ノ通リ國債發行額ハ累増致シテ、昨年末ニ七百億ヲ突破シ、千億モ——明年度位ハ其ノ程度ニナルト云フヤウナ情勢デアリマス、併シナガラ尙公債發行額ガ千億或ハ二千億ニナリマセウトモ、是ハ勿論財政的ニ言へバ、後世ニ相當ノ利子負擔、其ノ他ノ財政負擔ヲ殘スコトデアリマス、勿論是ハ重要視セナレバナラヌ問題デアリマスガ、唯公債ガ千億、二千億ニ殖エルコトハ、何等悲觀スベキ状態デハナイト考へテ居リマス、勿論此ノ戰争ハ滕タナケレバナラヌノデアリマシテ、此ノ戰争ニ勝抜キサヘスレバ、大東亞ノ大キナ經濟力ヲ抑ヘマシテ、國力ハ飛躍的發展ヲスルノデアリマスカラ、其ノ裏付ケノ下ニ千億、二千億或ハ數千億ニナリマセウトモ、國債ノ發行額ガ如何ニ増加致シマセウトモ、少シモ心配ハナイト考へテ居リマス、御話ノ如ク前歐洲大戰ノ際ニ「ドイツ」「フランス」ガ租稅

アリマスガ、我國ニ於キマシテハ、先程  
申シマシタ如ク、此ノ戰爭ヲ契機トシテ、  
經濟力ト云フモノガ飛躍的ナ發展ヲスルト  
云フ基礎ノ上ニ立ツテ居ルノデアリマシテ、  
決シテ國債ノ増加ト云フコトハ惧ルベキモ  
ノデハナイト存ズルノデアリマス、唯其ノ  
ヤリ繰ト申シマスカ、國債ヲ年々巨額ニ發  
行シテ行カナケレバナラナイ、ソレヲ巧ク  
消化シテ行クト云フ其ノ方法ニ付キマシテ  
ハ、勿論色々ナレ慎重ナル對策ヲ必要トスル  
ノデアリマシテ、資金政策ヲ適切ニ運行シ  
テ行ク、即チ國家資金計畫ヲ精密ニ立テマ  
シテ、物トノ睨ミ合セラ完全ニスル、資金  
ノ蓄積計畫ヲ完全ニ實行シテ行ク、即チ貯  
蓄ヲ完全ニ行フコトニ依ツテ、國債ノ  
巧クヤツテ行ク、サウ云ツタ資金政策ヲ益々  
適實ニ實行シテ行クコトニ依ツテ、國債ノ  
消化ニ關シマシテモ心配ナキモノト考ヘテ  
居ル次第アリマス

テハ大體二割ト押ヘ得ルト思ヒマス、又本年度ノ増稅計畫ヲ見テモ、二割五分位ニ當ツテ居ルノデハナイカ、地方稅、間接稅等ヲ合セマスト、或ハ三割程度ニナツテ居ルノデハナイカト思フノデアリマスガ、之ヲ「ヨーロッハ」ノ例ニ付テ見マシテモ、例ヘバ英國ノ二五%、「アメリカ」ノ二七%、「ドイツ」ノ三三%ナドニ比ベルト、大體增稅ガ或ル限度世界各國ト同様ナ程度ニ來テ居ルノデハナイカト云フ感ジモ致シマス、併シナガラ國民ノ擔稅能力ハ五割位マデ宜イト云フ第一次大戰ノ經驗カラ見レバ、更ニ擔稅餘力ガアルノデハナイカト云フ感ジモスルノデアリマス、私ハ此ノ點ニ對スル當局ノ所信ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマスガ、今次ノ增稅ニ於テ、否、昨年ノ增稅ニ於キマシテモ、大都市ノ中心部ニ於テハ可ナリ負擔ガ過重ダト云フ空氣ガ現ハレツ、アツタコトハ事實デアリマス、勿論是ハ大都市ノ商業者ノ、所謂皇國納稅理念ニ徹シナイ結果デアルカモ知レマセヌ、併シナガラ一面ニ於テハ徵稅技術上ノ缺點モアルノデハナイカト思ハレル、又他面ニ於テハ所謂無理解ナ、在來ノ實績主義ニ基ク所ノ査定權ノ濫用ニ依ルト云フ結果モ、見逃スコトガ出來ナイノデハナイカト思ハレルノデアリマス、又同時ニ租稅ノ飛躍的ナ增加ニ對スル國民ノ心理的ナ苦痛ガ、サウシタ聲ヲ起サシメタルマデモナイガ、昭和十五年度ニ於テハ僅方八億一千萬圓ノ增稅デアツタノガ、本年度ニ於テハ三十四億ト相成ツテ居ル、即チ昭和十七年度ハ二十三億、十八年度十五

億ノ増稅トナリ、結局百億近イ増稅トナツ  
テ居ル譯デスカラ、此ノ急激ナ飛躍的増加  
ガ國民ノ心理ニ影響スル所、大デハナイカ  
ト思ヒマス、隨テ將來ノ增稅等ニ關シテハ、  
ベキデハナイカト云フコトト同時ニ、大都  
市ノ中心部ニ於ケル納稅ガ可ナリ苛酷ニナ  
ツテ居ルノデハナイカト云フ空氣ガ起リツ  
ヴァルコトモ考ヘテ、在來ノ所謂實績主義  
ニ依ル査定ニ付テモ、相當考慮ヲ拂フベキ  
デハナイカト思フノデアリマスガ、斯ウシ  
タ問題ノ色々ニ付テ當局ノ所信ヲ伺ツテ見  
タイト思フノデアリマス

論的ナ根據ハナイト考ヘテ居リマス、唯出来得限リ租稅收入ニ依ルコトガ望マシイノデアル、唯其ノ限界ハ戰時中ニ於ケル國民經濟ノ維持發展ニ支障ヲ及ボサナイ限リ、或ハ戰時下ニ於ケル國民ノ最低生活ヲ奢サナイ限リニ於テ、出來ルダケ租稅收ニ依ツテ戰費ヲ賄フコトガ考ヘラレル、從來ノ增稅、今次ノ增稅ニ於テモ其ノ觀點カラ增稅ガ行ハレテ居ル譯デアリマス、其ノ増稅ノ程度ガモツト增稅スペキモノカ、或ハ行過ギテ居ルカト云フコトハ、主トシテ國民經濟ニ對スル影響、國民生活ニ及ボス影響ト云フヤウナコトカラ判断セラルベキモノデアルト思ヒマス、尙御話ノ課稅ニ當ツテ大都市等ニ於テ苛酷ナ感ジアリマス、其ノ點ニ付キ問題デアルト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テハ尙必要ガアレバ主稅局長其ノ他カラ御答辯申上ガタイト存ジマス

再審査ヲ願ツテモ毫モ決定スル所ナク、此ノ數年放置サレテ居ルト云フ例ガアリマス、斯ウ云フコトカラ見レバ、一般的ナ税ノ負擔ハ或ハニ五%デアリマシテモ、個々ノ事例ヲ見ルト、殆ド商賣ノ全體ヲ取上ゲラレルト云フ感ジノスル場合モナイ譯デハナイ、斯ウ云フコトガアル爲ニ、假ニ全體トシテノ租税能力ガアリマシテモ、個々ニ於テサウシタ不當ナ課税ガアル爲ニ、非常ニ過重ダト云フ聲ガ傳播サレル虞ガアルゾデハナイカト思フカラ、一般的課税率ヲ見ルコトニ依ツテ問題ガ考ヘラレルコトモ固ヨリデアルガ、サウシタ個々ノ課税ニ付テモ、政府トシテハ相當御考ヘヲ願ハナケレバナラヌノデハナイカト思フノデアリマス、此ノ點ニ對スル何等カノ對策ガアレバ伺ツテ置キタイト思ヒマス

其ノ結果御話ノヤウナ事例ヲ惹起シテ居ルト云フコトハアリ得ルト思フノデアリマス、税務當局ニ於キマシテモ、其ノ點ニ非常ニ留意致シマシテ、職員ノ素質ノ向上、人員ノ補充ト云フコトニ格段ノ注意ヲ拂ツテ居リマシテ、此ノ一兩年間サウ云フ方面ニ色々ナ施設ヲ致シテ居ルヤウデアリマス、サウ云フ方面ヲ通ジ、職員ノ訓練ヲ通ジマシテ、御話ノヤウナ點ノナイコトヲ庶幾致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○田中(藤)委員 只今ノ個々ノ徵稅ノ問題ニ付キマシテハ、政府トシテ十分考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙査定ニ對スル取下トゲノ強要、或ハ未決定ノ儘數年放置ト云フコトモ大イニ考ヘナケレバナラヌ問題ダト思ヒマスカラ、政府ニ於テハ十分此ノ點ヲ善處サレタイト思ヒマス

次ニ私ハ公債ノ消化ノ問題ニ付テ御伺ヒ致シタイト思フノデアリマスルガ、十七年年度ト十八年度ト比ベルト稍、消化狀態ガ鈍化シテ居ルヤウニ感ジマス、即チ九十五%デアリマス、ツタモノガ九十一%五ニ減ツテ居ル、斯ウシタ公債消化ノ鈍化ノ情勢ガ、或ハ是カラ先ボツヽ見エルノデヤナイト云フコトヲ私ハ虞レル譯デアリマス、隨テ私ハ此ノ公債消化ノ消化対策ニ付テハ、相當ニ用意ガナクチヤナラヌノデハナイカト思フノデアリマス、同時ニ債券ノ消化ニ關シマシテモ、町會、隣組ヲ通ジテ割當テラレテ居ル關係デ、相當ニ實績ヲ擧ゲテ居ルコトハ事實デアリマス、併シナガラ是ガ爲ニ隣組、町會ニ於テハ相當ノ努力ト申シマスルカ、相當ナル苦痛ヲ嘗メツ、アルコトモ事實デアル、而モサウシ町會、隣組ノ一生懸命ノ消化ニ依ツテ、折角消化サレタ債券ガ、直

チニ質屋ニ飛び込ムコトモ我々ハ屢々目撃致シテ居リマス、斯ウ云フ譯テ末端ニ於ケル斯ウシタ消化状況ヲ考ヘテ見マスルト、  
公債或ハ債券ノ消化ニ付テハ、將來相當對策ガナクチヤナラヌノヂヤナイカト云ワコトヲ感ズルノデアリマス、殊ニ是モ大都市ニ於ケル割當ハ、或ハモウ限界ニ達シテ居ルノヂヤナイカ、是レ以上ハ因ルノヂヤナカト云フコトガ叫バレテ居リマス、之ニ比ベマシテ所謂新興都市或ハ其ノ周圍部ニ於キマシテハ、相當ナル餘裕ノアル面モ見受ケラレマス、私ノ體驗シタ所ニ依リマスト、大阪ニ於ケル中心部ニ於テハ、殆ド弱ツテ居ルガ、而モ一方接續町村、或ハ新興町村ニ参リマスルト、尙公債ニ致シマシテモ債券ニ致シマシテモ、是レ位ノコトナラ何デモナイト云フ、素晴ラシイ意見ヲ聞クノデアリマスルガ、斯ウシタ公債消化ノ鈍化ニ鑑ミマシテ、同時ニ其ノ消化割當方針ニ付テモ検討ヲ加ヘナクチヤナラヌノヂヤナイカト思ヒマス、即チ大都市ニ於テ負擔が重イト考ヘラレルノハ、ヤハリ是ハ在來ノ實績ト云フコトガ中心トナツテ居ルノデヤナイカト思ヒマスルノデ、此ノ割當ニ當リマシテハヤハリ地域的ナ能力、新興都市タルヤ否ヤ考ヘ、或ハ最近ノ新興所得階級ナドノ多イ場所ナドニ付テハ、相當是ハ考ヘ直シテ、地域的ナ能力ヲ再検討シ、再割當ヲサルベキデハナイカト思フノデアリマス、斯ウシタ公債ノ消化ニ關スル問題、債券ノ消化ニ關スル問題ニ付テ當局ノ所信ヲ此ノ機會ニ伺ツテ置キマス

三%ト云フコトニナツテ居リマシテ、幾分國債ノ消化ニハ相當何時モ躍進ヲ見セルヤウナ情勢デアリマシテ、昭和十八年度ノ消化率ガ結局ニ於テドウナリマスカ、斯ウ云フコトハマダ俄ニ判断シ難イト存ジマス、併シナガラ大體ニ於キマシテ昭和十七年度ノ消化率九五%八ト云フモノハ是ハ非常ニ良カツタ年デアリマス、昭和十五年度、昭和十六年度ニ於キマシテハ、何レモ八〇%臺デアツタノデアリマス、偶、十七年ニ非常ニ好成績ヲ示シタガ爲ニ、十八年ハ之ニ比シテ低下スルト云フヤウナ状況ニナリマシタガ、其ノ低下ノ度合ハ非常ニ少ウゴザイマス、概シテ昭和十八年度ノ國債ノ消化成績モ良好デアルト云フコトガ考ヘラレルト思フノデアリマス、併シナガラ良好ト申シマシテモ、勿論十七年度ヨリ多少デモ低下スルトナレバ喜ブベキ現象デナインデアリマシテ、國債ノ消化ニ關シテ、殊ニ又來年度ハ巨額ノ國債モ出サネバナラナイ譯デアリマスカラ、一層努力致サネバナラヌコトハ勿論デアリマス、是ガ爲ニハ國債ノ消化計畫、根本ニ於キマシテハ國家資金計畫ヲ非常ニ精密適正ニ致シマシテ、適切ナ資金蓄積ノ計畫ヲ立てマシテ、此ノ實行ニ當等ノ問題ニ關シマシテモ、色々ト御話ノ邁進スルト云フコトデアルト思フノデアリマス、貯蓄債券、報國債券、或ハ國債ヲ隣組等デ消化シテ戴ク、サウ云フ方面ノ割當等ノ問題ニ關シマシテモ、色々ト御話ノヤウナ缺點モ現在ハアルト思フノデアリマスガ、漸次ソレ等モ改善サレツ、アルヤウナ狀態デアリマス、大體ニ於キマシテ政

府——大藏省ニ於キマシテ全國ノ府縣ノ割當ヲ致シ、其ノ次ニ市町村等ノ割當、隣組等ノ割當ヲ府縣ノ方ヂ、ソレドヽ致スト云フヤウナコトニナツテ居リマスガ、其ノ割當ニ付キマシテモ色々ノ基準ヲ求メル爲ニ、年々各種ノ方面カラ検討致シマシテ、適實ヲ期シテ居ルヤウナ次第デアリマス、間々割當ノ不當ト云フヤウナコトモ見受ケラレルノデアリマシテ、漸次ソレ等ハ改善サルルコトヲ期待致シテ居リマスガ、特ニ本年度ハサウ云フ方面ニ努力ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○中村委員長 一寸田中君、御質疑ノ途中デスガ、臨時軍事費ノ公債利子財源ニ充當スル爲ニ公債發行額ノ修正ヲ要セラレルサウデアリマシテ、其ノ公債發行額修正ノ説明ヲ大藏次官カラ發言ノ要求ガアリマスカラ、此ノ際御説明ヲ伺フコトニ致シタイト思ヒマス、大臣ハ豫算總會ノ方ニ御出席ノヤウデアリマスカラ、次官カラ此ノ際修正ノ説明ヲ伺フコトニ致シマス

○谷口政府委員 昭和十九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案ニ對シ修正ヲ加ヘルコトニ相成リマシタノデ、其ノ次第ヲ簡單ニ御説明致シマス

目下本委員會へ付託サレテ居リマスル昭和十九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案ベ、既ニ御説明致シマシタル通り、昭和十九年度歳入歳出總豫算案竝ニ同追加案第一號ニ計上セル經費ノ財源ノ一部トシテ、五十七億九千八百五十萬圓ノ公債發行ノ權能ヲ得ントスルモノ等デアリマスルガ、今回別途提出致シタル昭和十九年度歲入歲出總豫算追加

案第一二號ニ計上致シマシタル經費ノ財源トシテ、更ニ二億六千五百八十萬圓ノ公債發行ヲ必要ト致シマスルノデ、曩ニ提出致シマスル等ノ爲メノ公債發行ニ關スル法律案第一條ノ公債發行限度ヲ、六十億六千四百三十萬圓ニ増加スル必要ヲ生ジタノデアリマス、仍テ議院法第三十條ニ依リ本修正ヲ提出致シマシタル次第デアリマス  
○中村委員長 ソレデハ田中君質疑ヲ續ケテ下サイ  
○田中(藤)委員 只今ノ公債財源ノ消化ノ問題デアリマスガ、債券消化ノ状態ヲ見ル爲ニ、債券買上制度ト申シマスカ、郵便局ノ窓口ナドニ於ケル買上制度ノ昨年度ノ實績ヲ伺ヒタインデアリマス  
○田中(豐)政府委員 一寸數字ヲ調べテ後デ申上ゲルコトニ致シマス  
○田中(藤)委員 ソレデハ今ノ問題ハ答辯ガアツテカラ致スコトニシテ、其ノ他ノ問題ニ移ルコトニ致シマス、其ノ次ハ公債費處理ノ問題デアリマスルガ、公債費處理ノ問題ハ、恐らく戰時ニ於テモ戰後ニ於テモ、相當考へナケレバナラナイコトハ勿論デアリマスガ、千億ト申シマスレバ恐ラク三十五億ノ利子ノ支拂ヲ要シマス、二千億トナレバ七十億トナリ、而モ元利金ノ償還ノ爲ニ百億乃至二百億ノ經常費が要ルト云フヨリニ惱シデ居ル、「フランス」ハ四〇%、「ドイツ」ハ三三%ト云フコトデゴザイマスルガ、戰後ニ於テモスウシタ負擔ノ過重ガ續ク場合ニ於テハ、政策上是ハ相當考慮シナケレバナ

ラヌ問題デアリマスルノデ、而モセウシタ  
多額ノ公債支出ガ年々嵩ムト云フコトニナ  
レバ、結局國債所有者ニ對シテ租稅ヲ全部  
持ツテ行ク、租稅ヲ全部持ツテ行ツタ所デ  
足ラナイ、例ヘバ租稅ガ二五%乃至三〇%ト  
云フ一般歲出ノ比ヲ占メテ居ル場合ニ於テ、  
其ノ四七%或ハ四〇%ト云フ多額ノ公債支  
辨ヲ致スト云フコトニチレバ、結局公債所有  
者ニ對シテ全部稅金ヲ攢ツテ行カレルト云  
フコトニチリマシテ、購買力ガ結局サウシタ  
公債所有者ニ集中スルト云フ結果ニナルノ  
デアリマス、而モ公債所有者ハドウ云フ階  
層カト云ヘバ、現在一般國民ニ持タレツ、  
アリマスケレドモ、併シナガラ此ノ統計ヲ  
見マシテモ能ク分る通り、一般民衆ノ有ス  
ル公債ハ極ク僅カナモノデアリマス、七十  
四億デアリマス、若シ七百億トスレバ一割  
餘デアリマス、而モ公債利子支拂ノ爲ニ一  
割ガ大衆ニ還元シ、ソレ以上ハ然ラザル面  
ニ還元サレルト云フコトニナレバ、可ナリ  
社會經濟的ニ重大ナル問題ヲ提供スルコト  
ニナリハセヌカト思ヒマス、隨テ此ノ點ニ  
付テ豫メ相當ナ檢討ガナサレナケレバナラ  
スノデハナイカスト思ヒマス、此ノ爲ニ、  
或ハ前ノ大戰ニ於ケル例ト致シマシテハ、  
所謂臨時財產稅ヲ謀スベシト云フ議論モ  
アツタト思ヒマスルガ、現ニ我が國ニ於テ  
起リツ、アル意見トシテハ、或ハサウシタ  
財產稅ノ創設、或ハ又特殊會社ノ拂下、或  
ノ議論ガゴザイマスルガ、斯ウシタモノニ  
對スル政府ノ所信ヲ此ノ機會ニ伺ツテ置キ  
タノイデアリマス。

○田中(豐)政府委員 年々國債が累増シテ  
巨額ニ達シ、其ノ利拂額ダケデモ相當ナモ

旨ク行カナイト、非常ニ財政經濟ノ各方面ニ  
足ラ、結局國債所有者ニ對シテ租稅ヲ全部  
持ツテ行ク、租稅ヲ全部持ツテ行ツタ所デ  
足ラナイ、例ヘバ租稅ガ二五%乃至三〇%ト  
云フ一般歲出ノ比ヲ占メテ居ル場合ニ於テ、  
其ノ四七%或ハ四〇%ト云フ多額ノ公債支  
辨ヲ致スト云フコトニチレバ、結局公債所有  
者ニ對シテ全部稅金ヲ攢ツテ行カレルト云  
フコトニチリマシテ、購買力ガ結局サウシタ  
公債所有者ニ集中スルト云フ結果ニナルノ  
デアリマス、而モ公債所有者ハドウ云フ階  
層カト云ヘバ、現在一般國民ニ持タレツ、  
アリマスケレドモ、併シナガラ此ノ統計ヲ  
見マシテモ能ク分る通り、一般民衆ノ有ス  
ル公債ハ極ク僅カナモノデアリマス、七十  
四億デアリマス、若シ七百億トスレバ一割  
餘デアリマス、而モ公債利子支拂ノ爲ニ一  
割ガ大衆ニ還元シ、ソレ以上ハ然ラザル面  
ニ還元サレルト云フコトニナレバ、可ナリ  
社會經濟的ニ重大ナル問題ヲ提供スルコト  
ニナリハセヌカト思ヒマス、隨テ此ノ點ニ  
付テ豫メ相當ナ檢討ガナサレナケレバナラ  
スノデハナイカスト思ヒマス、此ノ爲ニ、  
或ハ前ノ大戰ニ於ケル例ト致シマシテハ、  
所謂臨時財產稅ヲ謀スベシト云フ議論モ  
アツタト思ヒマスルガ、現ニ我が國ニ於テ  
起リツ、アル意見トシテハ、或ハサウシタ  
財產稅ノ創設、或ハ又特殊會社ノ拂下、或  
ノ議論ガゴザイマスルガ、斯ウシタモノニ  
對スル政府ノ所信ヲ此ノ機會ニ伺ツテ置キ  
タノイデアリマス。

方占領諸地域ニ流通致シテ居ツタハアリマス、所デ昨年此ノ軍票ノ發行ヲ停止シマシテ、軍票ニ代ツテ南方開發金庫券ヲ發行致シテ居ルヤウナ次第デアリマスガ、此ノ流通狀態モ非常ニ良好デアルト云フコトヲ申上ゲタイト思ヒマス、尙後段ノ、是ハ内地ニ於テノ御話ダト思フノデスガ、軍票ト同ジヤウナ考ヘ方デ、公債ヲ發行シナイデ、日本銀行券ノ代リニ政府紙幣ヲ發行シテハドウカ、斯ウ云フ御尋ネアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ政府紙幣ヲ出シマスノモ、現在ノ發行制度ニ依ル國債デヤツテ參ルノモ、色々ノ前提ハアリマスガ、國民經濟ニ及ボス影響或ハ財政上ニ及ボス影響ト云フモノハ、殆ド同様デアルヤウニ考ヘテ居リマス

ト云フ問題ハアルト思フアリマス、併シナガラ之ニ付キマシテモ、日本銀行ノ利益ト云フモノニ付キマシテハ、其ノ大半ガ納付金トシテ政府ニ別途納付スルコトニ相成ツテ居リマスノデ、ソレ等ヲ考へマスレバ殆ンド大シタ差ハナカラウト考へテ居リマス、尙發行諸機關ノ費用其ノ他ニ付キマシテモ、先程申シマシタ如ク、日本銀行引受若クハ預金部引受ト云フコトニナツテ居リマシテ、特ニ其ノ爲ニ多クノ費用ヲ要シテ居ル譯デゴザイマセヌノデ、結局大差ナキモノト考ヘテ居ル次第アリマス、○田中(藤)委員 大差ナイト云フ意見ヲ伺ウテ大變私ハ結構ダト思ヒマス、併シナガラ大差ナケレバ一步進ンデ政府紙幣ト出ルベキデハナイカ、固ヨリ日銀ニ於ケル金利ノ収益ナドガ軽々ト云フコトモ考ヘラレマスガ、サウシタ徑路ヲ辿ルヨリ、簡明直截ニ、初メカラ札ヲ出シタル問題トシテ移リ得ナイ惱ミガアルノデハナイカト思ヒマス、併シナガラサウシタ聲ハ一部財界ノ有力ナル反對ニ依ツテ實際問題トシテ移リ得ナイ惱ミガアルノデハナイカト思ヒマス、從來ノ通貨觀念ニ依レバ、サウジタ何等ノ根據ノナイ不換紙幣ノ發行ニ付テハ、可ナリ國外的ナ關係カラ見テ議論ガアツタノデアリマスガ、今日ニ於テハ既ニ、只今局長ノ答辯ノ如ク、經濟界ニ及ボス影響ハ大差ナイト云フコトデアリ、同様デアルト云フコトデアリマスル以上ハ、現在例ヘバ公債貯金制度ト云フモノガ出來テ居リマスガ、公債ヲ印刷スルコト自體ニモ、ドチラカト云ヘバ資源的ノ惱ミガアルノデハナイカト思ヒマス、斯ウ云フコト力ラ見レバ、態々公債發行ト云フヤウナ廻リ

○田中(豊)政府委員 先程ノ大差ナイト申上ゲマシタ點ハ少シ修正セテ戴キタイノデアリマス、御話ノヤウニ所謂不換紙幣、政府紙幣ト云フモノヲ出スノト、現在ノ發行方法ニ依ル國債ノ發行トハ大差ナイト申スノハ、此ノ不換紙幣ガ適當ナ限度ヲ以テ真ニ必要ナル物資勞務ノ裏付ノアル必要ナ限度ニ於テ發行サレル適當ナ流通量ヲ確守スルト云フコトヲ條件ト致シマシテ、サウ云フ前提ノ下ニ於キマシテハ大差ナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ所謂不換紙幣ヲ發行スル、金ハ幾ラデモ要ルカラ、之ニ依ツテ賄フト云フヤウナコトニナリマシテハ、是ハ非常ニ大差ガアル譯デアリマシテ、サウ云フコトノイケナイコトハ勿論デアリマス、田中委員ノ御話モ物資勞務ノ裏付ノアル限度ニ於テノ發行ト云フコトデ考ヘテ差支ヘナイト思ツテ、サウ云フ御考ヘノ下ノ御所論ダト思フノデアリマス、サウ致シマスナラバ結局旨ク行ツタ場合ニハ兩者トモ大差ナイト思ツテ、サウ云フ御考ヘノ下ノ御所論ダト思フノデアリマス、サウ致シマスガ、其ノ場合ニ於キマシテモ、國債ヲ發行スルト云フコトニ依ツテ成ルノデアリマスガ、此ノ消化狀況ヲ能ク検討致シマシテ、ソコニ現ハレタ結果ニ依ツテ、資金ノ蓄積或ハ配分、資金計畫等ヲ適切ニヤツテ行クト云フコトガ、國債ノ發行方法ニ依ル場合ハ非常ニヤリ易イノデアリマス、政府紙幣ニ依ル場合ハ、適當ナ方策ガ今後立テ得ラレルカモ知レヌト思ビマスケレドモ、只今ノ所ソレガ困難デアリマシテ、結局サウ云フ政

ノ印刷能力ト云ツタヤウナコトカラモ、政府  
紙幣ガ宜イノデハナイカト云フコトデゴザ  
イマスガ、勿論原材料デアリマス紙ノ問題  
等ハ國債ノ方ガ紙幣ヨリ餘程量ヲ要スルコ  
トハ勿論デアリマスガ、印刷能力全體カラ  
考ヘマスト、紙幣ノ方ガ更ニ精密ニナルト  
云フヤウナ問題ガアリマス、サウ云フ點カ  
ラハ必ズシモ國債ニ代ヘテ紙幣ヲ出ス方ガ  
併シナガラ私ハ現在ノ財政當局ヲ信ジマス、  
宜イトハ考ヘラレナ次第デアリマス  
○田中(藤委員 濫發ノ虞レアリト云フ  
トヲ前提トスレバ、是ハ問題デアリマセヌ、  
財政計畫ニ依ツテナサレルノデアルカラ、  
毫モ適當限度ト云フコトヲ棄サレルコトハ  
私ハ斷ジテナイト思フノデアリマス、隨テ  
ワザヽ局長ガ、所謂政府紙幣ヲ發行モ公債  
ノ發行モ同様ダト云フ見解ヲ改メラレル必  
要ハ、サウシタ前擧ノ下ニハナイノデハナ  
イカト思ヒマス、サウシテ今ノ消化狀況ナ  
ドヲ見ルノニ、公債ノ方ガ便宜デハナイカ  
ト云ソタヤウナ意見ガアツタヤウデアリマ  
シタガ、併シ是ハ更ニ預金ニ還元スル徑路  
ヲ眺メルナラバ、毫モ心配ハナイノデヤナ  
イカト思ヒマス、殊ニ此ノ統計ヲ見レバ、  
結局金融機關關係ニ其ノ公債ガ殆ド眠ツテ  
居ルノデス、ダカラ是ハ紙幣ヲ出シマシテ  
モ、結局サウシタ金融機關ノ預金ト云フ形  
ニ於テ現ハレルニ過ギナイノデハナイカ、  
隨テ政府紙幣ヲ假ニ發行スルト致シマシテ  
モ、現在ノ流通以上ノ箇棒ナ紙幣ヲ發行ス

ル必要ハナイノデハナイカト思フ、即チ此ノ意味ニ於テモ公債ノ紙ノ問題モ解決シ得ルト考ヘマスルノデ、是ハ更ニ政府トシテハ十分検討セラレテ、革斷ノ舉ニ出デラレルヨウ私ハ要望致シテ置キマス  
次ニ私ハ公債政策ノ限度ニ關スル見解ハ、結局政府紙幣ノ發行ニ依ツテ、將來ノ公債ル唯一ノ方法デアル、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマシテ、是非此ノ點ハ考慮ヲ願ハナケレバナラヌノデアリマス、此ノ問題ハ此ノ程度デ一應打切りマシテ、更ニ私ハ他日機会ガアレバ、大臣カラデモ伺ヒタイト思ヒマス  
ソコデ私ハ臨時資金調整法ノ問題ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、只今臨時資金調整法改正法律案關係命令案ノ要綱ヲ載イタ譯デアリマスガ、大體最近ノ法律案ノ顯著ナ傾向ハ、命令ニ其ノ内容ヲ委任スルト云フ傾向デアリマス、此ノ點ハ必ズシモ私惡イトハ申シマセヌガ、例ヘバ此ノ臨時資金調整法改正案ヲ見マシテモ、僅カノ條文ノ中ニ「命令」定ムル所ニ依リ「下云フ言葉ガ馬鹿ニ多ク使ツテアリマス、是ハ私ハ目障リニナルト思フノデアリマス、例ヘバ條文ガ七、八箇條デアリマスガ、其ノ中ニ「二十三箇所モ「命令」定ムル所ニ依リ」ト云フ言葉ヲ使ツテアリマス、是ハ非常ニ目障リダト思ヒマス、斯ウシタコトハ最近ノ傾向デ、惡イトモ私デアリマスルカラ、政府ハ斯ウシタ「命令」定ムル所ニ依リ」ト云フヤウナ言葉ヲ使ハズ努メテ之ヲ避ケルト云フコトヲ考ヘテ貰フト

同時ニ、命令内容ガ直チニ法律ニ表現シ得ル限りハ、是ハ表現シテ貴ツタ方ガ宜イノデヤナカト思ヒマス、又斯ウシタ命令内容ノ決定ニ當リマシテハ、廣ク民智ヲ動員省ヲ加ヘル、外部的ニモ外面的ナル行政查察ナドニ依ツテ、其ノ完璧ヲ期スルト云フ用意ガナクテハナラヌノデヤナカト思ヒマス、隨テ私ハ先ヅ此ノ法律案ノ、内容ヲ命令ニ委任ズルト云フ此ノ顯著ナ傾向ニ付テノ、政府ノ行政上ノ用意ヲ先ヅ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○田中(豊)政府委員 先程ノ政府紙幣ノ問題ニ關シマシテ、モウ一つ附加ヘサセテ戴キタイト思ヒマス、結局政府紙幣ト云フ御表現ノ下ニ御答へ致シタノアリマスガ、現在ノ我が國ノ通貨制度ハ、御承知ノ通り、日本銀行券ヲ以テ通貨ト致シテ居ル譯ニアリマシテ、之ヲ政府紙幣ニ代ヘルト云フヤウナ問題トシ考ヘレバ、是ハ根本的ニ色々問題ヲ包藏致シテ居リマス、殊ニ此ノ戦時中サウ云フコトヲ實行致スベキ問題デハナイト思フノアリマス、極ク經濟的ニ、財政的ニ考ヘマシテ、政府紙幣ト云フモノヲ國債ノ代リニ出スト云フ御所論ヲ、國債ヲ出スト云フヤウナ手數ヲ省イテ、日本銀行カラソレダケノ金ヲ借上げテ使ヘバ宜イ、斯様ニ解釋致シマシテ、色々御答辯申上げニ銀行券ヲ借上げテ政府ガ使フノト同ジデアルト思ツテ御答ヘ申上ゲタウナ譯ニアリマス、現在ノ通貨制度ヲ、日本銀行券ノ流通ヲ廢メテ、政府紙幣ヲ出スト云フコト

レバナラス、是ハ検討スペキダト思ヒマス、軍事費ニ關スル限りハ議論デハアリマセヌガ、併シナガラ其ノ他ノ歳出ニ當ツテハ何トカシテ輕減スル、歳出ヲ努メテ節スルト云フ方法ヲ考ヘナケレバナラス、其ノ方途ナク唯在來ノ秩序ガ斯ウダカラト云フコトデオヤリニナツテ居ルノデハイケナイ、是ハ財政當局トシテ國民ニ要求スル以上、政府自身モ御考ヘニナラナケレバナラス方法ダト思ヒマス、隨テ是レ以上ハ議論致シマダト思ヒマス、  
セヌ

ビ議會ノ御協賛ヲ願ハナケレバ何トモ變ヘ  
ウナ憾ミモアリマスルノデ、私共ト致シマシ  
テモ出來ルダケハ命令ニ委任シタクナイト  
併シナガラ何モ命令ニ規定スベキ内容ヲ此  
處ニ現ハシタクナイト云フ譯アハナイノデ  
アリマスルカラ、御審議ノ必要トアリマス  
レバ、只今モ御示シシテアリマスヤウニ、  
命令ニ規定スベキ事柄、是ハ只今決マツテ  
居リマスルモノハ全部御出シヲスル、斯様  
ニ考へテ居ル次第ゴザイマス

○氏家政府委員 第十條ノニ依リマシテ貯蓄化スベキモノハ金錢債務ノ全部ニ及バウト云フ考ヘハナイノデアリマシテ、提案ノ理由ニモ御説明致シテアルト思ヒマスガ、一時的、臨時のノ收入デアツテ、是ガ生産ニ直接關係ヲ持タナイヤウナ資金、是ガ經濟界ニ吐キ出サレルト云フコトハ非常ニ惡影響ヲ及ボス、謂ハド惡質ノ金ガ吐キ出サレル、隨ヒマシテドウジテモ之ニ付テハ他ノ資金ノ貯蓄トハ違フ方法デ行カナケレバナラヌ、先般行ハレマシタ戰力增强企業整備ニ伴フ資金ナドハ、其ノ最モ顯著ナモノダト思フノデアリマスガ、アレ以外ニモアレニ類スルヤウナモノガ相當アルノデアリマス、サウ云フ種類ノモノヲ茲デ押ヘヨウト云フノデ十條ノ二ト云フ規定ガ出来テ居ルノデアリマス、ソレデ今日多少擴張シヨウト云フコトニナツテ居ルノデアリマスルガ、只今ノ「ハ」下云フ所ノ「命令ヲ以テ定ムル場合ニ於ケル支拂金ノ債務」ト云フノハドウ云フモノカト云フ御尋ネデアリマスルガ、是ハ實ハ私共ノ方ト致シマシテモ、今ハツキリ斯ウ云フモノダト云フコトヲ申上ゲル程度ニ具體化シテ居ルモノハナイノデアリマスルガ、今後經濟界ニ色々ナ現象モ常ニ多イト思ヒマス、又國民ハソニ對シテ非常ナ不安ヲ持ツンデヤナイカト思ヒマスカラ、是モ命令案ノ内容ニ於テモウ少シ明確ニサルベキダト思ヒマス

○田中(藤)委員 趣旨ハ分ルト思ヒマス、唯此ノ趣旨ヲ表現スル技術ノ問題ニナルカモ様ナ規定ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス  
ナイト私ハ思ヒマス、斯ウ云フコトニスレバ、所謂今仰シヤツタ一時の浮動購買力ト言ヒマスカ、餘剩購買力ト言フカ、サウ云フモノヲ抑ヘルコトニナツテ居ナイ、例ヘバ右ニ準ズルトカ何トカ云フコトニスレバ或ハ宜イカモ知レマセヌガ、是ダケデハ納得ガ出来ナイノデヤナイカト思ヒマス、即チ本法ニ於テ既ニ「命令ノ定ムル所ニ依リ」トナツテ居リ、斯ウシタ關係命令ニ於テモ「其ノ他ノ命令」下云フコトガ段々委任サレテ來ルト、法ノ精神ガ末端ニ至ルニ隨ツテ變化スル虞ガアリマス、而モ斯ウシタコトハ國民ノ取引ノ安定感ニ對スル影響ガ極メテ大ダト思ヒマスノデ、是ハモウ少シ何ト力練ラレテ、適切ナ國民ニ安定感ヲ與フベキ命令ヲ以テ代ヘラレントヲ私ハ要望致シマス、ソレカラ十條ノ九デアリマスル、是モ亦其ノ他ノ命令ニ定ムル事由ニ由ルト云フコトニ引掛ツテ來ル譯デアリマスルガ、貯蓄者ガ災害疾病ノ場合ニ解除變更シ得ル、其ノ他命令ヲ以テ定ムル場合ト云フノデアリマスガ、此ノ事由ニ該當スル場合ハドウ付テハ、現ニ金融機關ニ於テハ任意ニ解除云フコトヲ豫想サレテ居ルカト云フコトヲシ變更致シテ居リマス、拂戾シヲ致シテ居ヒタインデアリマス、此ノ點ニ付テ現ニ行ハレツ、アルコトハ、應召、應徵ナドニ付テハ、現ニ金融機關ニ於テハ任意ニ解除云フコトヲ豫想サレテ居ルカト云フコトヲシ變更致シテ居リマス、ソレガ實情ナンデス、而モ災害疾病ト云フ風ニ例示サレテ居ルガ、其ノ他ノ所謂内容如何、之ヲ明白ニ願ヒタイト思ヒ

○氏家政府委員 十條ノ九ニ依リマシテ、  
「期限前拂戻又ハ契約ノ解除若ハ變更ヲ請  
求シ得ル」文字ノ中ニ災害疾病ト云フヤウ  
ナモノハハツキリ致シテ居ルノデアリマス  
カ、其ノ外ニドンナコトヲ考ヘテ居ルカ、  
其ノ事由「一ツトシテ、應召ノヤウナ場合ヲ  
考ヘテ居ルカト云フ御尋ネデアリマスガ、  
正ニサウ云フ場合ヲ私共モ考ヘテ居ルノデ  
アリマス、一家ノ大黒柱ニナツテ居ツタヤ  
ウナ人ガ應召シテ、其ノ爲ニ家族ガ生活ニ  
困ル、人ニ依リマシテハ軍事扶助ハヤハリ  
受ケタクナイ、自分が今マデニ貯蓄シテ居  
ル金、ソレデ以テ行ケルダケハ行ツテ見タ  
イト云フヤウナ人モアルノデアリマスカラ、  
御尋ネノヤウナ場合モ是等ニ準ズル場合ト  
シテ取扱フ積リテ居リマス

○田中(慶)委員 只今ノ説明ハ大體了承致  
シマスガ、御示シノ所謂命令案内容ニ依リ  
マスルト、今ノ應召、應徵ノ場合ハ専マナ  
イ虞ガアルト思ヒマス、専マナイト云フ解  
釋モ出來ルノヂヤナイカト思ヒマス、即チ  
不具、癱瘓、疾病、傷痍、其ノ他精神若シ  
クハ身體ノ障礙等ノ爲メ生活困難、戸主又  
ハ家族ノ死亡等ニ依ル生活困難、災害復舊  
ノ爲メ必要トスル時、又ハ前各號ニ準ズル  
事由アル時トナツテ居リマス、隨テ「イ」、「ロ」、「ハ」ハ、應召、應徵ハ解釋トシテ入ルト  
ハ言ヘマセヌ、是ハ一體ドウナルノデセウ  
力

ノ拂戾シヤ契約ノ解除變更、之ヲ認メテヤ  
ルベキ必要ノ程度ガ準ズル、斯様ナ意味合  
デアリマスルカラ、御話ノヤウナ場合モ入  
ルト云フ風ニ御考ヘラ願ヒタイト思ヒマス  
○田中(藤)委員 サウ云フ風ニ私ハ考ヘタ  
イト思ツテ之ヲ能ク讀ンデ見タガ、ドウシ  
是ハ先刻私ガ申シマシタ十條ノ一二ハ、其  
ノ他ノ命令ヲ以テ定ムルトナツテ居レバ樂  
ナンデス、所ガ此ノ書キ方ハ左ノ各號ニ該  
當シ云々トナツテ居ル、サウ云フ譯デアル  
カラ、是ハ非常ニ限定期デアル、其ノ他各  
號ニ準ズルト云フ言葉ヲ使ツテ居ル關係デ  
抑ヘラレル虞ガアリマス、隨テ是ハ命令案  
ノ内容ノ決定ニ於テハ、更ニ慎重ニ検討サ  
レルノガ宜ト思ヒマス、ソレカラ只今ノ  
十條ノ九ニ關聯致シマシテ申上ガタイコト  
ハ、斯ウシタ中途ニ於ケル解除變更ノ場合  
ニ於ケル給付金額ノ限度内容、是ハドノ程  
度デアラウカト云フコト、同時ニサウシタ  
貯蓄機關ノ被ムルベキ損害ヲ補償スルト云フ  
コトニナツテ居ルガ、是ハドノ程度ニ補償  
サレルカ伺ヒタイ

カラ補償、補助ヲ金融機關ニ對シテ出ス  
合、是モ通常ノ場合ニハアマリ豫想サレナ  
イノデアリマスルケレドモ、何カ一地方ガ  
敵ノ爆撃ニ遭ツタト云フヤウナコトノ爲ニ、  
一度ニ纏マツテ相當ノ金額ヲ拂出サナケレ  
バナラヌト云フヤウナコトニデモナリマス  
ルト、或ハ貯蓄取扱機關ニ對シテ或ル程度  
ノ補償金、補助金ヲ交付シナケレバナラヌ  
ト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、併  
シソレ等ハ全ク其ノ時ノ事情ニ依ツテ考ヘ  
ナケレバナラヌノデアリマシテ、今此處デ  
一寸具體的ノコトヲ申上ゲル所マデハ行ツ  
テ居リマセヌ

ドウカト思フ、寧ロ進ンデ戰時ニ於ケル一般災害ニモ及ブベキデハナイカ、例ヘバ地震或ハ風水害、火災等ニ於テ喪失シタ場合ニ於テモ、斯ウシタ臨時措置ヲ以テ遇スベキデハナイカ、是ガ眞ニ國債所有者ヲ保護スル所以デハナイカ、斯ウ思ヒマスガ、此ノ點ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス〇田中(豐)政府委員 災害等ニ因ル喪失無記名國債證券ノ救濟手段トシテ本法案ヲ立法致シマシタガ、御話ノ如ク、戰時災害ノミニ限定セズ、地震、水害、火災等ノ一般ノ災害ニモ、戰時中ハ之ヲ及ボスペキデハナカト云フ御趣旨ハ洵ニ御尤モデアリマシテ、一應本法案ノ建前トシテハ、第一條ニハ「戰時災害ニ因リ喪失シタル無記名國債證券ニ對シテハ」云々ト書イテアリマスガ、本法ノ第十一條ニ於テ「本法ハ、戰時災害以外ノ戰時中ノ災害ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノニ因リ喪失シタル無記名國債證券ニ之ヲ適用ストアリマシテ、戰時災害以外ノ普通一般ノ災害モ、戰時中ニ起リマシタ場合ニハ勅令ニ依ツテ本法案ヲ適用スルト云フ指定手續ハ必要デアリマスガ、一般的災害ニモ本法ヲ準用シテ、此ノ救濟手段ヲ及ボシタ伊オト考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ是ハコニアルヤウニ、勅令ヲ以テ定メルコトガ必要デアリマシテ、偶ニ一軒ノ家ガ火災ニ遇ツタト云フヤウナ時ニハ適用スル考ヘハアリマセヌ、相當廣範圍ニ亘ツテ地震其ノ他ノ災害ガアツタ場合ニハ、勅令ヲ以テ定メ、本法ヲ適用シテ救濟スル、斯様ナ考ヘ方ヲシテ居ル次第アリマス〇田中(藤)委員 サウ云フ場合ニハ、勅令ヲ以テ指定スルト云フコトデアルガ、是ハ寧ロ第一條ニ於テサウシタ趣旨ヲ明瞭ニスレバ、

思ヒマス、是ハ或ハ立法技術ガ問題カモ知レマセヌガ、出來ルダケ廣ク一般的ナ風害、火災或ハ地震ノ場合ニハ、此ノ臨時措置法ニ依ツテ保護セラレルト云フ趣旨ヲ、何等カノ形ニ於テ明確ニ願ヒタコト思ヒマス、サウ云フヤウニ此ノ法案ニ於テ示サレルチラバ大變結構デアルガ、此ノ法案ヲ一寸見タダケデハドウ云フ災害ヲ含ムノダト云フコトガ疑問ニ思ハレマス、ソコデ一般國債所有者保護ノ見地カラ、サウ云フ點ヲ明確ニセラレルコトヲ要望致シマス、是ハ國債所有者ニ對スルモノデアルガ、貯蓄債券、報國債券等ノ保護ニ關シ云ハ何等カノ御用意ガアリマセウカ

○氏家政府委員　國債ニ付キマシテ今回特別ノ救濟手段ヲ執ルコトニナリマシタノデ、之ニ準ジテ貯蓄債券、報國債券モ同様ニ取扱フト云フ趣旨ノ下ニ、臨時資金調整法第十四條ノセト云フ規定ヲ設ケタ次第デアリマス、國債ハ政府ガ發行シテ居ルモノデアリマスケレドモ、債券ハ日本勸業銀行ヲシテ發行セシムテ居ルノデアリマスカラ、其ノ點ニ於テ多少變更シナケレバナラヌコトモアリマスケレドモ、大部分ハ國債ノ方ヲ準用スルコトト致シテアリマス

○田中(藤)委員　報國債券貯蓄債券ノ保護ニ付テモ御考慮ヲ戴イテ居ルト云フコトデアレバ結構デアリマスガ、臨時措置法ト臨時資金調整法トニ區別シテ規定サレルト云フコトハ何カ理由ガアツタノデセウカ、ソレヲ伺ヒタコト思ヒマス、若シ特別ナ理由ガナケレバ、是ハ寧ロ無記名國債證券ト同時ニ、一般ノ貯蓄債券ニモ及ブノダト云フコトヲ明確ニサレタ方ガ、債券所有者ノ心



所謂干田、水田ノ中デ非常ニ灌漑水ノ少イ  
干田ニ作ツテ居リマス面積ガ、約其ノ一割デ  
四千町歩位ニナツテ居ルノデアリマス、結  
局此ノ干田ニ作ツテ居ル煙草ヲ畑作ニシテ、  
ソレダケ米ヲ作ルカドウカト云フコトニナ  
ルト思フノデアリマスガ、現在此ノ干田デ  
煙草ヲ作ツテ居リマスノハ、近畿以西、中  
國、四國或ハ九州方面ニ多ク見ラレルノデ  
アリマシテ、結局灌漑用水ガ比較的不十分  
ナ土地デアリマスノデ、稻ヲ作ル作付ヲ始  
メル前ニ煙草ヲ作ル、サウシテ煙草ヲ收穫  
致シマシタ後ニヤハリ米ハ作ツテ居ルノデ  
アリマシテ、米ノ收穫ノ高カラ言ヒマシテ  
モ、普通ノ田ニ作ツテ居ルモノニ比ペテソ  
レ程大キナ減收モ見テ居ナインデゴザイマ  
ス、米作全體カラ見マシテ約四千町歩ノ  
干田ニ現在煙草ヲ作ツテ居ルコトガ、非常  
ナル影響ヲ來シテ居ルモノトハ我々考ヘテ  
居ナイノデアリマス、勿論專賣當局ト致シ  
マシテモ、從來此ノ煙草ノ耕作ニ付テハ出  
來ルダケ田ニ作ルコトヲ避ケルヤウナ方針  
デ、畑ノ方ニ轉換スルヤウニ指導ハシテ來  
テ居ルノデアリマス、唯農村ノ實情カラ見  
マシテ、今申シマシタヤウナ干田ニハ、煙  
草ヲ作ツタ方ガ農家ノ經濟ノ上カラ言ヒマ  
シテモ有利デアル、而モ後デハヤハリ稻ヲ  
作ルト云フコトニナツテ居リマスノデ、今  
ノヤウナ田作ヲ一時ニ止メサスト云フコト  
ハ困難カト思フノデアリマスガ、恐ラク將  
來ハ段々サウ云フ田作モ減ツテ行クノデナ  
カラウカト者ヘテ居ルノデアリマス、尙  
内地デ煙草ヲ耕作スルノヲ出來ルダケ止メ  
マシテ、大陸方面カラ必要ナル煙草ノ輸入  
ヲヤウテ見テハドウカト云フ御意見デアリ  
マス、サウ云フ點モ將來ノ問題ト致シマン

テハ十分考ヘナケレバナラヌコト思フノ  
デアリマスガ、現在ノ實情ヲ申シマスルト  
支那ニ致シマシテモ満洲ニ致シマシテモ、  
葉煙草ノ生産ガ中々容易ニ、十分ニ行ハレ  
テ居ナイノデアリマシテ、實際ノ所要原料  
カラ見マシテ、寧ロ内地カラ或ル程度ノ補  
給ヲシナケレバ駄目ダト云フヤウナ實情ニ  
相成ツテ居ルノデアリマス、現ニ本年度ト  
致シマシテモ、支那或ハ満洲、更ニ南方方  
面ニ對シテモ、原料葉煙草ノ輸出ヲ内地カ  
ラ或ル程度行ハナケレバナラヌ、又サウ云  
フ計畫ヲ我々ハ樹テ、居ルノデアリマスル  
ガ、外地カラ今輸入スルヨリモ、寧ロコチ  
ラノ方カラ供給シナケレバナラスト云フヤ  
ウナ事情ニナツテ居リマスルノデ、將來支  
那方面ノ治安ノ安定モ行ハレ、又煙草ノ收  
買ガ非常ニ能ク行ハレルヤウニナリマスレ  
バ、相當輸入能力モアルカト思フノデアリ  
マスルガ、現在ノ所ハ今申シタヤウナ實情シ  
テアリマス、内地デ煙草ノ耕作ヲ廢止シテ  
外地カラ輸入スレバ宜イデハナイカト云フ  
コトニ付キマシテハ、少クトモ今申シマシ  
タ通り、目下ノ情勢カラ見マスルト、實行  
ガ非常ニ困難デアルト考ヘテ居ルノデアリ  
マス

ソレダケ内地ノ造石米ノ消費量ヲ減シテ來居ルノデアリマス、又一面只今御話モアリマシタヤウニ、合成酒ヲ極力多ク造爾ヤウナ方針ヲ執ツテ來居リマスガ、恐ラク將來サウ云フコトニ付キマシテハ尙一層研究ヲシマシテ、成ベク内地ノオ米ヲ酒造ノ用ニ使ハナイヤウニ善處セラレルコトカト思フノデアリマス、併シ是モ極端ニ全部内地米ハ酒ニ使フコトヲ止メル——急ニ止メテシマフコトモ事實困難カト思ブノデアリマスガ、御示シノヤウナ方向ニハ將來尙段々進シ行クコトカトモ思フノデアリマス、一應關聯致シマシテ私カラ御答辯申シマス

マシテ善處シテ居ルノデアリマス、其ノ點  
御諒承願ヒタイト思ヒマス  
○中村委員長 一寸委員各位ニ申上ゲマス  
ガ、午後二時カラ一時間乃至一時間半ノ豫  
定デ、大藏大臣ガ當委員會ニ御出席ニナラ  
レル見込デアリマスカラ、其ノ時間ニ出来  
ルダケ大藏大臣ニ對スル質疑ヲ纏メテ御願  
ヒ致シタイト思ヒマス、本會議ハ午後一時  
カラアリマシテ、臨時軍事費ノ上程ガアル  
ヤウデアリマスカラ、本會議散會後直ニ委  
員會ヲ開キタイト思ヒマス、ソレカラ尙  
委員各位ニ一ツ申上ゲテ置キタイト思ヒマ  
スコトハ、此ノ分デ參リマスト、前日ノ懇  
談會デ御相談願ツタヤウナ豫定ニ中々進行  
シ兼ネルト思ヒマスカラ、出來ルダケ一ツ  
簡潔ニ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレ  
デハ此ノ程度デ休憩致シマス  
午後零時六分休憩

タノデアリマスガ、其ノ點ハ一ツ吸收ノ面ヲ少シ申シ忘レテ居ツタト思フノデアリマス、勿論一時ハソレデ大差ナイノデアリマスガ、其ノ發行サレマシタ政府紙幣方旨ク回収サレルト云フ途ガ付カナケレバナラナイノデアリマシテ、適量ニ政府紙幣方發行致サレマシテモ、ソレガ還流ノ途ガナクテ累積スルト云フコトデハ非常ニイケナオコトハ申上ゲルマデモナイト思フノデアリマス、現在ハ其ノ還流ノ途ガ、公債ノ消化ト云フ途ヲ通シテ、發行サレタ日本銀行券ガ回収セラレルコトニナツテ居ル譯デアリマスガ、貯蓄其ノ他ヲ通ジテ政府紙幣ヲ出しタ場合ニ於テモ、ソレガ還流スル途ガアルデヤナカラウカト云フコトニ相成ルノデアリマシテモ、更ニ銀行等ハ此ノ貯蓄ニ對シテ利子ヲ附サナケレバナラヌ、其ノ根源ハ現在ハ國債ヲ持ツト云フコトデアリマスルガ、サウ云フコトニ關シテ方策ハ中々困難デハナイカト思フノデアリマス、御意見ハ十色々問題モアリマセウガ、大體ニ於テ順調ニ參ツテ居ル次第デアリマシテ、發行方法ヲ變ヘルトカ、或ハ國債發行ニ代ヘテ政府紙幣ヲ出スト云フヤウナコトハ、今日餘程慎重ニ考ヘナケレバナラヌ問題ト存ジテ居ル次第デアリマス

○本領委員 煙草ノ問題ニ付テ政府委員ニ  
御伺ヒ致シマス、現在市場ニ提供セラレテ  
居リマス紙巻煙草ノ品種ノ上カラデスガ、  
實ハ私自身非常ナ煙草好キデ、始終煙草ヲ  
喫ンデ居ルノデス、其ノ直接ノ経験ヲ通ジ  
テ見マスト、品質モ以前ヨリ餘程低下シテ  
居ルヤウニ見ルノデス、ソレト同時ニ茲ニ  
見逃スコトノ出來ナイ事實ハ、量目ガ非常  
ニ實質的ニ減ツテ居ル、詰リ一本ノ煙草ノ  
紙ノ中ニ卷キ込マレテ居ル煙草ノ量ガ、見  
當カラ行キマスト、大體酷イ時ニハ二割方  
位少クナツテ居ルヤウナコトガ往々ニシテ  
アル譯デアリマス、全部ガ全部サウデハア  
リマセヌガ、サウ云フ事實ガ非常ニ屢ア  
リマスノデ、斯ウ云フ事實ハ單ナル品質ノ  
粗惡ト云フヤウナ問題デ一括シテ見ルベキ  
デナクテ、量目ガ名目ヨリ實質ガ少クナツ  
テ居ルコトヲ意味スル、單ナル品質粗惡ノ  
問題デハナクテ、經濟行爲上稍不道德ナ面  
ヲ聯想セシメル譯ナンデス、一般市場ニ於  
テハ、他ノ商品ノ賣買ニ於テ名目ヨリ實際  
ノ量ガ少ナイ場合ニハ、非常ナ惡德行爲ト  
シテ指摘サレテ居ル、所ガ官ガ直接ヤツテ  
居ル生産物ニ於テ、斯ウ云フ事實ガ全面的  
デハナイガ屢々アルト云フコトハ、非常ニ現  
下ノ時局上面白クナイコトダト常々考ヘテ  
居ルノデスガ、一體是ハ生産技術上ノ間違  
ヒカラ出テ來テ居ルノカ、ソレトモ多少原  
價計算ノ上カラト言ヒマセウカ、サウ云フ  
點カラ當局ガ指圖的ニヤツテ居ラレルノカ、  
之ヲ一度御伺ヒシタイト思ヒマス

爲的ニサウ云フ考ヘヲ持ツテ巻煙草ノ中ニ詰メマス煙草ノ量ヲ減ラスト云フヤウナコトハ、全然行ツテ居ナイノデアリマス、御承知ノ通リニ、アノ煙草ノ製造ハ全部今機械デヤツテ居リマシテ、機械ノ調節ノ上デ、或ハ間々サウ云フヤウナ十分煙草ノ詰ツテ居ナイヤウナ製品ガ、中ニハ出來ルカト思フノデアリマスガ、製品ノ検査ト云フ情モアリマシテ、或ハ今御話ノアリマシタコトモ一面從來カラヤツテ居リマス、唯最近勞力ノ關係カラ見マシテ、從來ノヤウニ嚴格ナ製品検査ト云フコトモ多少困難ナ事居ルノデアリマス、サウ云フ點ニ付キマシテハ將來モ十分注意致シマシテ、消費者ニヤウナ製品ガ市場ニ出テ居ルカトモ恐レテ御迷惑ノ掛ラヌヤウニハ心掛ケテ行キタイト思ツテ居ルノデアリマス、繰返シテ申シマスガ、サウ云フヤウナ方針テ特ニ原料ヲ節約スルト云フガ如キコトハ全然行ツテ居ナイノデゴザイマス、御諒承願ヒマス○本委員會此ノ問題ハ後ニ廻シマシテ、大藏大臣ニ御伺致シマス、第一點ハ要約スレバ將來ニ於ケル公債ノ處理方針トデモ申スベキモノノデアリマス、今朝本委員會ニ於問題ニ付テ豫ネド疑念ヲ懷イテ居ル譯デアリマス、問題的ニハ重複致シマスガ、是非此ノ點大藏大臣カラ御答ヘヲ願ヒタイト思ヒツタ譯デアリマスガ、實ハ私モ是ト同ジ問マス、ト申シマスノハ既ニ公債ノ發行額ガ十九年度デ以テ一千億ヲ突破スルト云フヤウナ現狀ニアリマシテ、今後モ亦大イニ増加スルト云フ將來性ヲ持ツテ居ル譯デアリ

マス、無論斯様ニナリマシタ次第ニ付テハ  
今更申上ガルマデモナイノデアリマスガ、  
脩テ斯クノ如ク増大シ、將來モ増大スルデ  
アラウ所ノ巨額ノ國債ヲ、將來ニ於テドウ  
云フ風ニコナシテ行カレルカ、此ノ點ヲ今  
日ノ機會ニ大藏大臣ノ持ツテ居ラレル對策  
ト云ヒマスカ、理想ト云ヒマスカ、ソレヲ  
御聽キシテ置キタイ、是ハ私一個ノ立場カ  
ラ申上ガルノデハ決シテナイノデアリマシ  
テ、大臣ガサウ云フ點ニ付テ明確ナル所信  
ヲ國民ニ明カニサレテ置カレルト云フコト  
ガ、公債ニ對スル信賴感ヲ高メ、且又之ニ  
對スル消化力ノ點ニ於テダイニ貢獻スル所  
ガアラウト思フカラニ外ナラネイノデアリ  
マス、決シテ一般的ナ世論デハアリマセヌ  
ケレドモ、現在ノ如ク公債ノ發行ガ非常ニ  
巨額ニ上リマシタ爲ニ、公債ノ償還ニ關ス  
ル疑惑ヲ懷イテ居ル者モ世上ニキニシモア  
ラズ、或ハ利拂ニ關シテ將來ニ於ケル危惧  
ノ念ヲ懷イテ居ル者ガナキニシモアラズデ  
アリマシテ、サウ云フ浮説ガ更ニ廣ク流布  
セラレマスルト、信賴感ノ減退ガソレカラ起  
サレテ來ルト思フノデアリマス、實際我々  
ガ考ヘテ見マシテモ、現在ノ公債ノ發行額  
ト云フモノハ非常ナ不均衡ナ所マデ來テ居  
ルノデアリマス、例へバ之ヲ國民所得ノ上  
カラ見マシテモ、數年前國債ガマダ五六十  
億程度ノ時代ニ、日本ノ國民所得ハ大體百  
三十億位ト計算サレテ居ツタヤウニ記憶致  
依レバ、大體六百億位ト計算サレテ居ラレ  
ル、此ノ間ノ比率カラ申シマスト甚ダシク  
シマスガ、今日國債ガ七百億ニ上ル時ニ、  
國民所得ハ先程本會議場ニ於ケル御説明ニ  
「アンバラنس」ニナツテ居ル、斯ウ云フ點

惑ガ一般ノ民間ニ起ツタ所デ、決シテ不思議ハナイト思フノデアリマスカラ、其ノ點ヲ拂拭スル意味デ大臣ノ御所信ヲ承リタイ

○賀屋國務大臣 只今ノ御質問ハ國債ガ累増シテ參リマス、而モ非常ナ巨額ナ累増ヲシテ參リマスゴトニ付キマシテ、將來ノ償還、元利拂如何ト云フ問題ト存ズルノデアリマスルガ、之ニ付キマシテハ率直ニ申上ダマスト、只今世間ノ一部ニモ斯ウ云フ者ヘ方ガアルカモ知レヌト云フ御話ガアリマシタガ、詰リ平時的ノ考ヘ方ト戰時的ノ考ヘ方ニ付キマシテ、根本的ニ分ケテ考ヘルト云フコトガ、當局者モ左様デアリマスルガ、國民一般ニ必要デアラウト存ズルノデアリマス、平時ニ於キマシテ或ル政策等ノ爲ニ、國債ニ依ル支出ヲ非常ニ増加シマス場合、是ガ財政全體ノ規模ノ割合、或ハ財政ノ基礎デアリマスル國民經濟全體ノ規模ノ割合等ニ付キマシテ、或ル均衡ヲ持ツテ行クト云フ考ヘ方ハ、私ハ相當首肯ガ出来ルト思フノデアリマス、併シナガラ國ヲ舉ゲテノ戰爭ノ場合ニ於キマシテハ、サウ云フ考ヘ方ハ私ハ間違ツテ居ルト思フノデゴザイマス、只今ハ御承知は唯精神力ト云フダケデナク、精神力ヲ其ノ爲ニハ前線ヘ固ヨリ、銃後ニ於ケル國民ノ根本的ノ精神力ガ主デアリマスルガ、是ハ唯精神力ト云フダケデナク、精神力ヲ本ニシテ物的戰力ガ増強スルト云フコトガ必需要ナルコト申上ゲルマデモナインデアリマス、隨ヒマシテ國家ノ經濟總力ヲ直接物的戰力ノ増強ニ向ケル、航空機ノ製造、艦船ノ製造、戰車、重砲ノ製造ト云フコトガ同時ニ、ソレヲ可能ナラシムル背景、最モ

重要ナルモノハ國民ノ食糧デアリマスカラ、是等ノ生産ニ全力ヲ向ケルト云フコトニナル譯デアリマス、隨ヒマシテ本年度ニ於キシテモ國家生產力ハ大イニ増加セラレマシテ、平時ノ三倍以上ニモナルノデアリマスルガ、其ノ大部分ガ、金錢所得デ申シマスレバ、八割マデガ所謂戰爭生產力ニ集中スル、飛行機ナリ、艦船ナリ、兵器ナリノ購買ノ爲ノ資金ニソレガ集マル、言ヒ換ヘレバ生産ノ大部分ハサウ云フモノノ生産ニ向クト云フ時代デアルノデアリマス、平時ニ於キマシテハ國民經濟全體ノ中デ、國家ノ活動ト云フモノハ比較的小部分ヲ占メル、サウ云フ時代ニ於テハ假ニ歲入全體ヲ國債ニ依リマシテモ少イモノデアリマスルガ、只今ハ國民所得ノ大部分ガ財政資金デアル、戰爭ニ勝ツ爲ノ資金デアルト云フコトニナリマスト、租稅、國債合セマシタ資金額ガ非常ナ程度ニ上ルト云フコトハ、是ハ國ノ精神力ヲ根源ト致シマスルガ、殆ド物的戰力ガテノ戰爭ノ必然的ノ性質デアルノデアリマス、此ノ點ニ於テ根本ノ差ガアルコトガ一ツデゴザイマス、同時ニ只今ノ戰爭ハ力ノ大小ト云フモノガ、勝敗ヲ決スルノニ非常ナ力ヲ持ツテ居ルト云フコトニナリマスト、隨テ物的戰力ノ増大、詰リ國家ノ生產力ガ殖エル、且ツソレガ戰爭ニ勝ツ爲ノシテハ、サウ云フ考ヘ方ハ私ハ間違ツテ居ルト思フノデゴザイマス、只今ハ御承知ノヤウニ戰争ニ勝ツコトガ第一デアリマス、其ノ爲ニハ前線ヘ固ヨリ、銃後ニ於ケル國民ノ根本的ノ精神力ガ主デアリマスルガ、是ハ唯精神力ト云フダケデナク、精神力ヲ本ニシテ物的戰力ガ増強スルト云フコトガ必需要ナルコト申上ゲルマデモナインデアリマス、此ノ故ニ私ハ國債ガ増大スレバスル程戰爭ニ勝ツ可能性ガ多イト思フ、國債ヲ餘計出セナイヤウナ狀態、詰リ兵器彈藥ノ調辨ガ餘計出來ナイヤウナ狀態ハ、敗戦ノ倾向ノ狀態デアル、國家ガ敗レマシテ國債

マシテモ國家生産力ハ大イニ増加セラレマシテ、平時ノ三倍以上ニモナルノデアリマスルガ、其ノ大部分ガ、金錢所得デ申シマスレバ、八割マデガ所謂戰爭生產力ニ集中スル、飛行機ナリ、艦船ナリ、兵器ナリノ購買ノ爲ノ資金ニソレガ集マル、言ヒ換ヘレバ生産ノ大部分ハサウ云フモノノ生産ニ向クト云フ時代デアルノデアリマス、平時ニ於キマシテハ國民經濟全體ノ中デ、國家ノ活動ト云フモノハ比較的小部分ヲ占メル、サウ云フ時代ニ於テハ假ニ歲入全體ヲ國債ニ依リマシテモ少イモノデアリマスルガ、只今ハ國民所得ノ大部分ガ財政資金デアル、戰爭ニ勝ツ爲ノ資金デアルト云フコトニナリマスト、租稅、國債合セマシタ資金額ガ非常ナ程度ニ上ルト云フコトハ、是ハ國ノ精神力ヲ根源ト致シマスルガ、殆ド物的戰力ノ増大、詰リ國家ノ精神力ガ主デアリマス、此ノ點ニ於テ根本ノ差ガアルコトガ一ツデゴザイマス、同時ニ只今ノ戰爭ハ力ノ大小ト云フモノガ、勝敗ヲ決スルノニ非常ナ力ヲ持ツテ居ルト云フコトニナリマスト、隨テ物的戰力ノ増大、詰リ國家ノ生產力ガ殖エル、且ツソレガ戰爭ニ勝ツ爲ノシテハ、サウ云フ考ヘ方ハ私ハ間違ツテ居ルト思フノデゴザイマス、只今ハ御承知ノヤウニ戰争ニ勝ツコトガ第一デアリマス、其ノ爲ニハ前線ヘ固ヨリ、銃後ニ於ケル國民ノ根本的ノ精神力ガ主デアリマスルガ、是ハ唯精神力ト云フダケデナク、精神力ヲ本ニシテ物的戰力ガ増強スルト云フコトガ必需要ナルコト申上ゲルマデモナインデアリマス、此ノ故ニ私ハ國債ガ増大スレバスル程戰爭ニ勝ツ可能性ガ多イト思フ、國債ヲ餘計出セナイヤウナ狀態、詰リ兵器彈藥ノ調辨ガ餘計出來ナイヤウナ狀態ハ、敗戦ノ傾向ノ狀態デアル、國家ガ敗レマシテ國債

マシテモ國家生産力ハ大イニ増加セラレマシテ、平時ノ三倍以上ニモナルノデアリマスルガ、其ノ大部分ガ、金錢所得デ申シマスレバ、八割マデガ所謂戰爭生產力ニ集中スル、飛行機ナリ、艦船ナリ、兵器ナリノ購買ノ爲ノ資金ニソレガ集マル、言ヒ換ヘレバ生産ノ大部分ハサウ云フモノノ生産ニ向クト云フ時代デアルノデアリマス、平時ニ於キマシテハ國民經濟全體ノ中デ、國家ノ活動ト云フモノハ比較的小部分ヲ占メル、サウ云フ時代ニ於テハ假ニ歲入全體ヲ國債ニ依リマシテモ少イモノデアリマスルガ、只今ハ國民所得ノ大部分ガ財政資金デアル、戰爭ニ勝ツ爲ノ資金デアルト云フコトニナリマスト、租稅、國債合セマシタ資金額ガ非常ナ程度ニ上ルト云フコトハ、是ハ國ノ精神力ヲ根源ト致シマスルガ、殆ド物的戰力ノ増大、詰リ國家ノ精神力ガ主デアリマス、此ノ點ニ於テ根本ノ差ガアルコトガ一ツデゴザイマス、同時ニ只今ノ戰爭ハ力ノ大小ト云フモノガ、勝敗ヲ決スルノニ非常ナ力ヲ持ツテ居ルト云フコトニナリマスト、隨テ物的戰力ノ増大、詰リ國家ノ生產力ガ殖エル、且ツソレガ戰爭ニ勝ツ爲ノシテハ、サウ云フ考ヘ方ハ私ハ間違ツテ居ルト思フノデゴザイマス、只今ハ御承知ノヤウニ戰争ニ勝ツコトガ第一デアリマス、其ノ爲ニハ前線ヘ固ヨリ、銃後ニ於ケル國民ノ根本的ノ精神力ガ主デアリマスルガ、是ハ唯精神力ト云フダケデナク、精神力ヲ本ニシテ物的戰力ガ増強スルト云フコトガ必需要ナルコト申上ゲルマデモナインデアリマス、此ノ故ニ私ハ國債ガ増大スレバスル程戰爭ニ勝ツ可能性ガ多イト思フ、國債ヲ餘計出セナイヤウナ狀態、詰リ兵器彈藥ノ調辨ガ餘計出來ナイヤウナ狀態ハ、敗戦ノ傾向ノ狀態デアル、國家ガ敗レマシテ國債

マシテモ國家生産力ハ大イニ増加セラレマシテ、平時ノ三倍以上ニモナルノデアリマスルガ、其ノ大部分ガ、金錢所得デ申シマスレバ、八割マデガ所謂戰爭生產力ニ集中スル、飛行機ナリ、艦船ナリ、兵器ナリノ購買ノ爲ノ資金ニソレガ集マル、言ヒ換ヘレバ生産ノ大部分ハサウ云フモノノ生産ニ向クト云フ時代デアルノデアリマス、平時ニ於キマシテハ國民經濟全體ノ中デ、國家ノ活動ト云フモノハ比較的小部分ヲ占メル、サウ云フ時代ニ於テハ假ニ歲入全體ヲ國債ニ依リマシテモ少イモノデアリマスルガ、只今ハ國民所得ノ大部分ガ財政資金デアル、戰爭ニ勝ツ爲ノ資金デアルト云フコトニナリマスト、租稅、國債合セマシタ資金額ガ非常ナ程度ニ上ルト云フコトハ、是ハ國ノ精神力ヲ根源ト致シマスルガ、殆ド物的戰力ノ増大、詰リ國家ノ精神力ガ主デアリマス、此ノ點ニ於テ根本ノ差ガアルコトガ一ツデゴザイマス、同時ニ只今ノ戰爭ハ力ノ大小ト云フモノガ、勝敗ヲ決スルノニ非常ナ力ヲ持ツテ居ルト云フコトニナリマスト、隨テ物的戰力ノ増大、詰リ國家ノ生產力ガ殖エル、且ツソレガ戰爭ニ勝ツ爲ノシテハ、サウ云フ考ヘ方ハ私ハ間違ツテ居ルト思フノデゴザイマス、只今ハ御承知ノヤウニ戰争ニ勝ツコトガ第一デアリマス、其ノ爲ニハ前線ヘ固ヨリ、銃後ニ於ケル國民ノ根本的ノ精神力ガ主デアリマスルガ、是ハ唯精神力ト云フダケデナク、精神力ヲ本ニシテ物的戰力ガ増強スルト云フコトガ必需要ナルコト申上ゲルマデモナインデアリマス、此ノ故ニ私ハ國債ガ増大スレバスル程戰爭ニ勝ツ可能性ガ多イト思フ、國債ヲ餘計出セナイヤウナ狀態、詰リ兵器彈藥ノ調辨ガ餘計出來ナイヤウナ狀態ハ、敗戦ノ傾向ノ狀態デアル、國家ガ敗レマシテ國債

○中村委員長 チヨツト此ノ際本領君及び委員各位ニ申上ダマスガ、改メテ大臣ノ御出席ヲ願フコトハ困難カモ知レマセヌカラ、出来ルダケ今日オイデ戴イタ機會ニ、大臣ニ對スル質疑ヲ終ツテ置キタイト思フノデス、ソレニ付テハ出来ルダケ質疑ヲ簡潔ニシテ戴イテ、本領君ノ外ニ大臣ニ對スル質疑ガアリマス方ハ、今ノ中ニ一ツ御申出ヲ願ツテ、出来ルダケ濟マシテ置キタイ、斯様ニ思ヒマスカラ御含ミ願ヒマス、ソレカラ大臣ノ此ノ席ニオイデニナル時間ノ豫定ハ、目下ノ所大體一時間ト云フ御話デアリマス——本領君

ル、其榮閣内ニ活動スル生産資本トシテハ、又新タル資本ガソコニ需要セラレル、隨テ新タニ發展シタ經濟力カラ齎ラサレル所ノ、謂ハバ利潤的ナモノデアリマス、從來發行セラレテシマツテ居ル公債ノ利子收入ト云フモノトドカ、自ラ二本建ニナツテ來ル、ソコニ國民所得ノ分配上ノ問題モ起ツテ來ル譯デアリマスカラ、私ハ結論カラ申上ゲルト、此ノ公債、國債ノ將來性ニ於テ、單ナル利附資本トシテ其ノ儘デ置クノデハナクシテ、戰勝ノ曉ニハ是ガ其ノ儘ソツクリ建設資本、生産資本ト云フヤウナモノニ轉換スルガ如キ具體策ヲ、今日ニ於テ立テラレル必要ハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、サウデナイト、幾ラ戰勝後日本ノ經濟力ガ外ニ大キク發展致シマシテモ、ソコニ既ニ積上ガラレテシマツテ居ル公債額ト云フモノニ付テ變更ガナケレバ、ソレカラ利子所得ヲ得ル所ノ者ガ、依然トシテ國民ノ中ニアル譯デアリマスカラ、大體此ノ利子収入階級ト云フヤウナ者ハ、決シテ積極的、發展的ナモノデハナイノデアツテ、寧ロスカル種類ノ者ガ、國家内ニ大キナ勢力ヲ占メレバ占メル程、國家ノ發展ト云フモノハ止ツテ來テ、退嬰的ニナツテ來ル危險ガアルノデアリマスカラ、出來ルダケ速ク國債ト云フ形デソレヲ留メテ置カナイデ、ソレガ直接的ナル生産資本ニ轉換スルヤウナ方ガ向ヘト立案セラレルコトガ適當デナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、斯ウ云フ考へ方ニ對シテノ御所見ヘドンナモノデセウカラレルモノヲ造ル爲ノ財源デアル公債ノ方○賀屋國務大臣 支那事變以來ノ生產擴充

ガ多イ譯デアリマス、併シナガラ御覽ノヤウニ非常ニ生産力ガ發展シテ參ツテ居リマス、直接ハ所謂軍事費公債、是ハ消耗ノ財源ト申ス外ハナイノデアリマス、併シ此ノ聖戰ヲ何モ經濟的ニ解釋スル譯デハアリマセヌガ、聖戰ナクンバ東亞全體ニ効クコトガ出來ナイ譯デアリマス、直接ト間接ノ差ガアリマスガ、其處ハヤハリ全國家活動、全經濟ト云フモノガ編ミ合ハサレテ行ク譯デアル、直接ハ或ハ支那ニ、滿洲ニ、南方ニ於テノ開發資金トナルモノガ建設資金トナルヤウデアリマスガ、是ハ直接的ナ考ヘデアリマシテ、全體ハ相互編ミ合ハサレテ行ク譯デアリマス、ソコデ今ノ御考ヘノ方向モ確カニツノ考ヘ方デアリマス、併シナガラ大東亞戰爭ノ前途ヲ考ヘマヌラバ、或ハ金額支出ノ直接ノ結果ハ、所謂生産資金的ノモノガアリ、直接ノ結果ハ消耗資金的ノモノモアラウカト思ヒマス、是等ハ幾重ニモ變化ヲ致スノデアリマスカラ、サウ申シテハ少シ言葉ガ過ギルカモ知レヌガ、今カラ小サクソコラヲ區分シテ參ルト却テ差支ヘル、此ノ公債ハ生産公債、此ノ公債ハ消費公債、生産公債ナラ宜イガ、消費公債ノ方ハサウデモナイト云フヤウナコトデハ、今後非常ニ大キナ公債財源ヲ賄ヒマス爲ニ、却テ支障ヲ生ズル場合ガアリハシナイカト存ズルノデアリマス、勝ツ爲ニ押シマスコ直接生産ノ爲ニ行クモノモアラウ、直接兵器、彈藥トナリ、戰爭ニ消耗サレルモノモアラウガ、結果カラ言ツテモ策ヲ得タルモノデナナイカト存ジマスノデ色々御話ノヤウナ點モ考ヘラレマスガ、戰局ノ段階ニ依ツ

テハサウ云フ風ニ處置シテ行クコトガ、餘程適切ニナルコトモアラウカト存ジマス、愈々戰勝ノ基礎搖ガズ、必ズ勝ツコトガ明白ダ、戰ヒノ山ハモウ本當ニ過ギタト云フ壁マデハ、慕ラニ只今ノヤウニ參リタイト存ジテ居リマス

○本領委員 大體了承シマシタ、唯現在ノ國債發行ニ當ツテ氣分的ニト云フノデハ私ハナイノデアリマシテ、將來ニ於テ大東亞戰爭ノ爲ニ發行セラレタ國債ガ、全面的ニ發展的生産的ノ方面ニ乘替ヘルヤウナ策ヲ云フヤウナ意味デ申上ゲタノデアリマス、ソレカラモウ一ツ御伺ヒシテ置キマスガ、既ニ大藏省デハ貯蓄獎勵ニ當ツテ、貯蓄スルクトガ單ニ國家ノ爲ト云フバカリデナク、ソレガ貯蓄者ニ取ツテ有利デアルト云フヤウニ説明ヲ向ケラレテ來タト云フ風ニ聞イテ居リマスガ、私ハ是ハ一ツノ方法デアルト思フノデアリマス、ソレト同ジヤウニ國債消化ノ上ニ於テモ、何處カデサウ云フヤウナ機運ヲ出サレタナラバ宜イノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居ツタコトモ多少此ノ種ノ質問ヲ申上ゲタ根據デアルコトヲ附言シテ置キマス

公債ニ付テハ其ノ程度ニシテ、次ニ通貨ノ問題デアリマスガ、是モ現在ニ於テ必ズシモ考ヘル必要ノナイ、ソレコソ戰爭ト云フモノニ或ル程度ノ見透シガ付イタ時ニ考ヘタラ宜イ問題ノ如クデハアリマスガ、又考ヘ方ニ依ツテハ必ズシモサウデハナク、今日大臣ガ其ノ所信ヲ明確ニセラル、コトニ依ツテ、現在ノ所相當ナ效果ガアルト思ツテ居ルノデ御尋ネスルノデアリマス、詰リ我ガ國ノ通貨制度ハ如何ナル制度ニ依ルコトヲ以テ理想トセラル、カ、將來ハ日本

ノ通貨制度ハ何ニ依ツテ行カレルカト云フ  
コトデアリマス、現在デハ實質的ニハ管理  
通貨制度デアツテ、金本位ナドハ疾ノ昔ノ  
物語ニナツテ居ル譯デアリマスガ、今日マデ  
ハ金本位制度ヲ完全ニ揚棄シタト云フノデハ  
ナク、一時的ニ離脱シテ居ツタノデアル、  
之ヲ法令的ニ見テモ、大藏省令デ停止シテ  
居ルダケニ過ギナイ、隨テ將來ニ於テ再ビ  
金本位制度ニ戻ルト云フ可能性ヲ、假令片  
鱗タリト雖モ、殘シテ居ル譯デアリマシ、  
殊ニ現在發行シテ居ル日本銀行券ニシテモ、  
金本位制停止後モ、依然トシテ從來ト同ジ  
意匠ノ紙幣ガ出サレテ居ルノデアリマシ、  
明確ニ日本銀行兌換券ト印刷シテアル、「此  
券引換ニ金貨拾圓相渡可申候」ト云フ文句ガ  
明瞭ニ印刷サレテ居ル、サウ云フ紙幣ヲ發  
行シ續ケテ居ル以上ハ、現在ハ其ノ兌換ヲ  
停止シテ居ツテモ、是ハ一時の停止デアツ  
テ、將來ニ於テハ再ビ金貨兌換ニ戻ルデア  
ラウト云フ連想ヲ持ツテモ必ズシモ不自然  
デハナイ、所ガ最近出タ新紙幣ハ此ノ日本  
銀行兌換券ト云フ文字ヲ廢シテ、單ニ日本銀  
行券トナツテ居リマス、ソレカラ金貨十圓  
相渡可申候ノ文句モ抹殺セラレテ居リマス、  
コヘニ我々カラ見ルト、或ハ又大藏當局ニ  
於テハ最早金本位ト云フモノニハ全ク執著  
ガナクナツタ、二度ト再ビ金本位ニ戻ル意  
思ハナイノデアルト云フコトヲ、此ノ方面  
カラ示唆サレテ居ルノデハナイカト云フコ  
トモ考ヘラレル譯デアリマス、必ズシモ  
金本位制度ノ問題ヲ此處デ取上ゲル譯デハ  
アリマセヌガ、兎ニ角金本位ニ戻ルカ、或  
ハ單ナル信用ニ依ル管理通貨制度ニスルカ、  
或ハ何カ其ノ他ノ新シキ構想ノ下ニ何等方  
ノ通貨制度ヲ考ヘテ居ラレルノカ、此ノ點

○賀屋國務大臣 我ガ國ハ實質上日本銀行  
券ガ通貨ノ大宗デアリマシテ、是ハ現在ノミ  
ナラズ餘程前カラ事實ガサウナツテ居リマ  
ス、一昨年日本銀行法ヲ改正致シマシテ、  
所謂管理通貨制度ヲ採ルコトヲ明カニ致シ  
タノデアリマス、然ルニ其ノ後モ御話ノヤ  
ウニ從來ノ所謂兌換券ガ通用シテ居ルガ、  
是ハ全ク便宜デアリマシテ、戰時ニ於テハ印  
刷力ト云フモノモ一ツノ大キナ問題デアリマ  
ス、幸ヒ我が國ハ國民ノ納稅ト貯蓄ノ御協力ニ  
依リマシテ前世界大戰ニ見ルガ如キ通貨ノ  
大膨脹ヲ致シマセヌ、其ノ意味ニ於テハ通  
貨ノ印刷量ハ國內的ニハ幸ヒナコトニ豫想  
スル程デハナカツタノデアリマスガ、尙  
國債、債券等ノ印刷、又大東亞圈内ノ諸國  
諸地域ノ印刷ト云フ喜ブベキ原因ノ爲ニ、  
非常ニ印刷力ガ要リマスノデ、昔カラ慣習  
のニ通用致シテ居リマス日本銀行兌換券ヲ、  
徹底的ニ替ヘル必要ナシト云フノデ、便宜  
其ノ儘ニ致シテ居リマス、併シ之ヲ變ヘル  
爲ニ新タニ所謂紙幣印刷ノ版ヲ起シマスル  
シタ機會ニアレヲ直シマシタ、是ハ十六年  
時ニハ變ヘテ行カウト云フコトニ方針ヲ決  
メマシテ、今回十圓紙幣等ノ印刷ヲ、印刷  
技術ノ上カラ、用紙其ノ他ノ點カラ變ヘマ  
シタ機会ニアレヲ直シマシタ、是ハ十六年  
ノ日本銀行法改正ノ時ニ其ノ方針ヲ闡明致  
シテアル譯デアリマス、尙管理通貨制度ニ  
點カラ考ヘテ見マシテ、大臣ノ御所見ヲ伺  
ヘタラ結構ダト思ヒマス

是ハ獨リ我國ノミデアリマセヌ、大東亞金融圈全體ノ方針トシテ其ノ方針ヲ執ル積リデアリマシテ、是ハ大東亞建設審議會等ニ於キマシテモ議ヲ練リマシテ、其ノ根本ノ方針ヲ定メテ之ヲ天下ニモ發表致シタヤウナ譯デアリマス、金本位ニ歸ル意思ハ毫モアリマセヌ、是ハ申上ガルマデモノク、世界ガ所謂國際貿易本位ノ時代ニハ通貨ヲ金ニスルト云フコトモ必要デアリマスルガ、現ニ「アメリカ」ガ非常ニ多額ノ、數百億圓ニ該當スル金ヲ持チマシテ、之ヲ本當ニ本位トシテ働カシマスルナラバ、所謂通貨ノ過剩ガ起ルノデアリマスルシ、同時ニ國內ノ生産力ガ旺盛デアリマシテ、所謂「メタル」ノ金、金屬ノ金ヲ持チマセヌ場合ニ於キマシテ、金ニ拘泥シマスレバ、非常ナル通貨不足ヲ生ズルノデアリマス、我國ノ如キモ前世界大戰ノ當時ニ於キマシテハ、金ノ輸入ガ多ク、此ノ金ヲ皆通貨ノ基礎ニシマスレバ通貨ガ多過ギルト云フ時代モアツタ、決シテ學理的ニモ本質的ニモ、金ノ保有量ト通貨ノ數量ノ健全性ト云フモノハ關係ガナイ譯デアル、物資ガ貧弱ナル國ガ金ヲ輸出スレバ、自由ニ外國カラ物資ガ得ラレルト云フ時ニ初メテ金ノ效用ガアルノデアリマス、只今ノ世界ノ狀態ハ左様狀態ノデアリマセス、ソレデ我國モ其ノ點ガ明瞭ニナリマシタノデ、現ニ支那事變後ニ於キマシテモ、「アメリカ」ニ金ヲ送レバ「アメリカ」カラ石油ガ買ヘル、銅ガ買ヘル、機械ガ買ヘル、ト云フノデ、非常ニ輸出貿易モ獎勵シ、產金モ獎勵シマシタ、是ハ全政策デアリマス、ソレガ所謂資產凍結令デ

金ヲ受付ケズ、或ハ受付ケテモ必要ナモノヲ賣リマセヌ場合ニハ、何等ノ效果ガナイ譯デアリマスノデ、サウ云フ政策ヲ一變シマシタコトモ御承知ノ通リデアラウト思ヒマス、要スルニ通貨ソレ自身ハ紙或ハ其ノ他ノ物資デアリマス、通貨ニ依ツテ購入サレル物資、之ニ依ツテノ勞力ノ需要ヲ満タシ得ル所ニ效果ガアルノデアリマスカラ、常ニサウ云フ意味ニ於ケル總生産力、之ニ相應シタ量ヲ持ツテ行カナケレバナリマセヌ、是ハドウシテモ今申シマスレバ所謂管理通貨制度デ行ク譯デアリマス、少クトモ國內通貨トシテハ管理通貨制度ヲ採用致シテ行カナケレバナラヌ、國際間ニ於テハ相手國ノ考ヘガ違ヘバ是ハ強要スル譯ニハ参リマセヌノデ、戰後國際貿易ガ回復シマシタ場合ニハ又貿易ガ必要デアリマスガ、其ノ際ハ是ハ相手國ノ感じ如何ニ依ツテ相互協調デ決スルモノデアリマシテ、是ハ所謂國際ノ決済ノ手段トシテ考ヘナケレバナラヌ、其ノ場合ノ金ト云フモノモ、場合ニ依ツテハ重要ナル役割ヲ務メルカモ知レマセヌシ、又或ハ金ガアリマセヌデモ、他ノ重要ナ輸出スペキ物資ガアリマスレバ、ソレデ十分ナノデアリマス、是ハ結局國際ノ清算、爲替ノ清算、整理決済ノ手段方法等モアリマスノデ、是等ハ全ク色々ノ手段ノ一ツトシテ考ヘマス、隨テ通貨制度ノ中核トシテ金ヲ使用スルト云フコトハ、斷然將來モナイト云フコトハ明確ニ申上ゲ得ラレル所デアリマス。

[View Details](#) | [Edit](#) | [Delete](#)

○本領

付ケズ、或ハ受付ケテモ必要ナモノ  
マセヌ場合ニハ、何等ノ效果ガナイ  
リマスノデ、サウ云フ政策ヲ一變シ  
コトモ御承知ノ通リアラウト思ヒ  
要スルニ通貨ソレ自身ハ紙或ハ其ノ  
資デアリマス、通貨ニ依ツテ購入サ  
資、之ニ依ツテノ労力ノ需要ヲ満タ  
所ニ效果ガアルノデアリマスカラ、  
ウ云フ意味ニ於ケル總生産力、之ニ  
タ量ヲ持ツテ行カナケレバナリマセ  
ハドウシテモ今申シマスレバ所謂管  
制度デ行ク譯デアリマス、少クトモ  
シノデ、戰後國際貿易ガ回復シマシ  
ニハ又貿易ガ必要デアリマスガ、其  
考ヘガ違ヘバ是ハ強要スル譯ニハ參  
ヌノデ、戰後國際貿易ガ回復シマシ  
ニケレバナラヌ、國際間ニ於テハ相  
是ハ相手國ノ感じ如何ニ依ツテ相互  
決スルモノデアリマシテ、是ハ所謂國  
際ノ手段トシテ考ヘナケレバナラヌ、  
合ノ金ト云フモノモ、場合ニ依ツテ  
ナル役割ヲ務メルカモ知レマセヌシ、  
金ガアリマセヌデモ、他ノ重要ナ輸  
キ物資ガアリマスレバ、ソレデ十分  
アリマス、是ハ結局國際ノ清算、爲  
マス、隨テ通貨制度ノ中核トシテ金  
スルト云フコトハ、斷然將來モナイ  
コトハ明確ニ申上ゲ得ラレル所デア

同ビ致シタニ

ベ、或ハ受付ケテモ必要ナモノ  
場合ニハ、何等ノ效果ガナイ  
ハノデ、サウ云フ政策ヲ一變シ  
御承知ノ通リデアラウト思ヒ  
ルニ通貨ソレ自身ハ紙或ハ其ノ  
アリマス、通貨ニ依ツテ購入サ  
ニ依ツテノ労力ノ需要ヲ満タ  
效果ガアルノデアリマスカラ、  
意味ニ於ケル總生產力、之ニ  
持ツテ行カナケレバナリマセ  
ンシテモ今申シマスレバ所謂管  
理行ク譯デアリマス、少クトモ  
シテハ管理通貨制度ヲ採用致シ  
バナラヌ、國際間ニ於テハ相  
違ヘバ是ハ強要スル譯ニハ參  
ハ、戰後國際貿易ガ回復シマシ  
又貿易ガ必要デアリマスガ、其  
相手國ノ感じ如何ニ依ツテ相互  
モノデアリマシテ、是ハ所謂國  
ノ通貨制度也、是ハ中核トシテ金  
利マセヌデモ、他ノ重要ナ輸  
貿ガアリマスレバ、ソレデ十分  
割ヲ務メルカモ知レマセヌシ、  
ノ段トシテ考ヘナケレバナラヌ、  
並ト云フモノモ、場合ニ依ツテ  
ス、是ハ結局國際ノ清算、爲  
整理決済ノ手段方法等モアリマ  
シハ全くなリマスレバ、ソレデ十分  
隨テ通貨制度ノ中核トシテ金  
云フコトハ、斷然將來モナイ  
明確ニ申上ゲ得ラレル所デア

増強ニ貢獻シテ居ル面ニ付テ大ナルモノアルコトヲ私ハ認メルニ客カデナインデスガ、一面又低物價政策ノ爲ニ或ハ軍需資材、或ハ日常生活物資ノ生產増強ニ障碍ヲ與ヘテ居ル面ノアルコトモ疑フコトハ出來ナイト思フノデアリマス、結局此ノ問題ヲ、此ノ間カラアチラコチラノ委員會で行ハレテ居ルノヲ見マスルト、ドウモ一長一短ノ水懸ケ論ノヤウニ聞ユルノデアリマス、併シ私ハ現在ノ低物價政策ノ方針ガ、生産増強ノ爲ニ或ル程度緩和セラレルト云ヒマセウカ、捌ケ口ヲ與ヘルト云ヒマセウカ、多少修正セラルベキ必要ガアルノデハナイカ、斯ウ云フ意見ヲ持ツ者デアリマス、アリマシテ、ソレガ一般家庭ニ於ケル生計費ノ増徴、或ハ煙草ノ値上、或ハ鐵道運賃ノ値上、或ハ郵稅ノ引上、要スルニ稅若シクハ之ニ類スルモノガ相當增徴セラレルノデアリマシテ、ソレガ一般家庭ニ於ケル生計費ヲ指數ニ相當大キナ影響ヲ與ヘテ居ルコトハ是ハ事實デアリマス、ソコデ一般家計ニシテ見マスト、ドウシテモ其ノ騰貴シタ生計費ヲ賄フ爲ニ從來ヨリモ多クノ所得ガ必要ニナツテ來ル、隨ツテ自己ノ取扱ツテ居ル所ノ生産物ノ價格ニ、相當ナル利益ノ高メラレ依ツテ、其ノ種ノ生産物ノ價格ガ低イ所ニ釘付ケニナツテ居ル、ソコニ一ツノ望マシカラザル結果ハ、彼等ハ生キンガ爲ニハ已ムヲ得ズ公定ヲ破ツテモ、所謂闇取引ヲヤル、今日一方ニハ丸公方アリ、牛面闇公ト云フモノサヘモ公然トロニセラレルヤウニナツテ居ルノデアリマシテ、若シ實際ノ物價指數ヲ求メヨウツルナラバ、其ノ何レ

ニ依ルベキヤ判断ニ苦シム位デアリマス、闇ノ價格ト云フモノガ公然トツノ相場ヲナスガ、一面又低物價政策ノ爲ニ或ハ軍需資材、或ハ日常生活物資ノ生產増強ニ障碍ヲ與ヘテ居ル面ノアルコトモ疑フコトハ出來ナイト思フノデアリマス、是ハ闇ガ決シテ偶ノ問題ヲ、此ノ間カラアチラコチラノ委員會で行ハレテ居ルノヲ見マスルト、ドウモ一長一短ノ水懸ケ論ノヤウニ聞ユルノデアリマス、併シ私ハ現在ノ低物價政策ノ方針ガ、生産増強ノ爲ニ或ル程度緩和セラレルト云ヒマセウカ、捌ケ口ヲ與ヘルト云ヒマセウカ、多少修正セラルベキ必要ガアルノデハナイカ、斯ウ云フコトハ戰時下ニ於ケル國民生活ノ明朗性カラ行キマシテ、決シテ簡單ニ其ノ根據ヲ申上ゲルト、或ハ間接稅ノ増徴、或ハ煙草ノ値上、或ハ鐵道運賃ノ値上、或ハ郵稅ノ引上、要スルニ稅若シクハ之ニ類スルモノガ相當增徴セラレルノデアリマシテ、ソレガ一般家庭ニ於ケル生計費ヲ指數ニ相當大キナ影響ヲ與ヘテ居ルコトハ是ハ事實デアリマス、ソコデ一般家計ニシテ見マスト、ドウシテモ其ノ騰貴シタ生計費ヲ賄フ爲ニ從來ヨリモ多クノ所得ガ必要ニナツテ來ル、隨ツテ自己ノ取扱ツテ居ル所ノ生産物ノ價格ニ、相當ナル利益ノ高メラレ依ツテ、其ノ種ノ生産物ノ價格ガ低イ所ニ釘付ケニナツテ居ル、ソコニ一ツノ望マシカラザル結果ハ、彼等ハ生キンガ爲ニハ已ムヲ得ズ公定ヲ破ツテモ、所謂闇取引ヲヤル、今日一方ニハ丸公方アリ、牛面闇公ト云フモノサヘモ公然トロニセラレルヤウニナツテ居ルノデアリマシテ、若シ實際ノ物價指數ヲ求メヨウツルナラバ、其ノ何レ

ニ依ルベキヤ判断ニ苦シム位デアリマス、闇ノ價格ト云フコトヲ證明スルコトニナルノデアリマス、サウジタ闇イ方面ガ出テ、國民ノ氣持デハ、決シテ誰モ世間カラモ不德呼ハナイケレドモ生活ガ已ムヲ得ズ之ヲ強要シテ居ル、斯ウ云フコトハ戰時下ニ於ケル國民生活ノ明朗性カラ行キマシテ、決シテ喜バシイコトデハナイ、是ハ消費ノ面デアリマスガ、生產面カラ之ヲ見マシテモ、闇行爲ヲナサザラント欲スレバ、結局採算ノ合ハナイ方面ハ之ヲ放棄スル外ハナイ、サウシテ何等カノ生活ノシ易イ方面ニ彼等ハ流レル、結局低物價政策ヲ一言ニ縮メルナラバ、闇ヲ餘儀ナクセシムルカ、生產ヲ停止セシムルカ、斯ウ云フ方面ニ追ヒ込ム向キガアリマス、全部ガ全部サウダト云フノデハアリマセヌガ、サウ云フ向キガアリマス、是ハ消費材ノ方面デアリマスガ、アリマスガ、ソレハ飽クマデモヤハリ長期力短期力、兎モ角一時的デアツテ、長ク其ノ成果ヲ收メントスレバ何處マデモ合理的ニシナケレバナラスト考ヘマス、低物價政策ヲ全部的ニハ飽クマデ堅持シテ行カナケレバナラヌデセウガ、當面ニ於テハ多少大臣省ノ方針ヲ緩和スルト申シマセウカ、他ノ主管省ヲシテ上ダヨウト思ヘバ上ダラレルヤウニ仕向ケテハ如何カト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テ大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○賀屋國務大臣 戰時經濟ニ於キマス精神ト採算ト物資トノ御所說ハ私モ大體同感ナノデアリマス、簡單ニ精神々々タ云ツテ損トシテモヤレ、ソレハ出來ルモノデハナリコトガ必ズシモ全部の方策デナクトモ、ハレナイコトノヤウニ思フノデアリマス、ハレナイコトノヤウニ思フノデアリマス、アルト云フ表現ガアリマシタガ、私ハ時局下非常ニ適切ナ言葉トシテ之ニ贊成ノ意ヲ強調セラレテ、經濟活動ハ精神活動デアルト云フ表現ガアリマシタガ、私ハ時局ニ思ヒマス、兎モ角今急グカラ造ルト云フコトガ必要デアルト思ヒマス、併シ政府トレト申シマシテモ、其ノ値段ガ決マラナケレバ出來ナイ、サウ云フ態度ハ私ハイカヌト思ヒマス、兎モ角今急グカラ造ルト云フコトガ必要デアルト思ヒマス、併シ政府トシマシテハ是ガ結局ハ生產費ガ償ヒ、合理的ノ利潤ガ得ラレル程度ニシナケレバ是ハ或ハ本領サンハ左様ナ御考ヘデハナイト思ヒマスガマダ——私ハ誤ツタ説トハ申シマセヌガ、一部ニ自由主義ノ考ヘガ殘滓トシテ残ツテ居ルノヂヤナイカト思ヒマス、詰リ高ク賣レルカラ原料モ高イ値デ買フ、勞務モ高イ値デ傭フ、ソレデ其處ノ生產、企業ガ增加スルト云フコトハ事實デアリマスガ、毎日飯ヲ食ハズニ働く



スト、本日ノ大臣ノ御説明ノ中ニモ出テ參リマシタヤウニ、一億國民ノ生計費トモ言フベキ國民消費額ハ、百十五億程度ニナルト云フ御話デアリマス、成程國民所得ヲ六百億ト見テ、財政ニ關スル經費四百二十五億、生産擴充ノ經費六十億、之ヲ合計スルト、百十五億ト云フモノガ出テ來ル、所ガ前年度ノ御説明ニ依ルト、百三十億ノ生計費ト云フ御言明ガアツタヤウニ思フ、本年度ト前年度ト較ベルト、十五億圓減デアル、ソコデ國民生活ノ實際ト云フ面ヲ見マスト、恐ラク前年度ノ國民生活ノ生計費ト本年度ノ國民生活ノ生計費トヲ考ヘテ見ルト、殖エテモ減リハシナイ、色々議論ハアリマシタガ、其ノ議論ノ中ニモ出テ來タヤウニ、闇ノ價格ガ暴騰ノ一路ヲ辿リツタル、低物價ト云ツテ居リマスガ、實質上ノ國民生活ニ必要ナル必需物資ノ價格ハ上ツテモ下ラナイ、事實生活ニ要スル國民ノ經費ハ高クナルト認メラレル實情ニアルニ拘ラズ、國民ノ消費額ハ減ツテ居ル、是ハ如何ニ國民ノ立場カラ了解スレバ宜シイカ、御説明ヲ願、ヒタイ

ガ相當アルト思ヒマシテ、私ハ壓縮ノ餘地ハ  
アルト思フノデアリマス、又物價モ御話ノ  
ヤウニ闇ガアルコトモ幾ラ私共デモ之ヲ否  
定スル譯ニ行キマセメ、闇ガ非常ニ多イヤ  
ウデスガ、是ガドレ位アルカ所謂闇デスカ  
ラハツキリ分リマセヌガ、色々ノ説ガアリ  
マシテ、日本トカ、「ドイツ」——敵デモ「イ  
ギリス」アタリハ少ナイ、詰リ闇フ餘計利用  
スルヤウナ贅澤ナ生活ヲスル人モアルガ、  
結局八割ハ公定値段デ買ツテ居ルダラウト  
見ル人ガ、相當玄人ニアリマス、又人ニ依  
ツテハ五割カ六割アルト見ルノデアリマス  
ガ、是ハ「アメリカ」ナドト違ツテ、日本ト  
イ部面ガアルト思ヒマス、是ハ御質問ニハ  
カ「ドイツ」、「イギリス」アタリ——無論闇  
ハアリマセウガ、全體カラ見ルト、少ナイヤ  
ウデアリマスノデ、相當壓縮シテ戴イテ宜  
今日私モ他ノ委員會デ申上ダマシタ分類ハ、  
間接稅ハ租稅負擔ノ中ニ入レテアリマス、  
我々ノ「ポケット」カラ出ス時ニハ、煙草モ  
金鶴デ二十三錢トシテ勘定シテ居リマスガ、  
アノ中デ二十錢ニ近イモノハ租稅負擔ノ中  
ニ入レテ居リマス、ソコデ恐テク家計全體  
トシテハ、今年ハ、假ニ皆サンガ支出ヲ付  
ケテ、直接稅モ間接稅モ村ケルトシタラ、  
昨年ト同額位デハナイカト思ヒマス、ト申  
シマスノハ稅ガ上ル、詰リソレダケ、今マ  
デ煙草ヲ十本喫シダ人ハ、或ル人ハ止メテ  
サウシテ戴ク外ナイト思ヒマス、ソレモ豫  
戴ク、或ル人ハ七本ニシテ戴ク、酒モサウ  
デス、入場稅、觀覽稅モサウデアリマスガ、  
ク度數ガ相當減ルモノト云フ計算ヲシテ居

ルノデアリマス、假ニ間接税ガ上ツテモ、今ノ十五億ハ實質上生活費ヲ減ラス、一寸細カイ計算ハ覺エテ居リマセヌガ、詰リ家材デアルトカ、電氣デアルトカ、或ハ動力トカ、輸送ガ戰用品ノ生産ニ向クヤウニスル、斯ウ云フ意味合デアリマス、一面今御話ガアリマシタヤウニ、配給其ノ他未だ完全ト云フ譯デモアリマセヌノデ、物價モ上ル面モアリ、相當國民トシテ此ノ上ノ生活切下ハ御困難ト思ヒマスルケレドモ、少クモアノ程度ニハヤツテ戴カナケレバナラヌト考ハテ居ル次第デアリマス

○田中(伊)委員 モウ一ツ御伺ヒシテ見マセウ、私寶ハ思フノニ、大藏大臣ノ御計算ヲナサツテ居ル國民所得ノ計算ガ多少少違ツテ居ハシナイカ、モウ小シ金額ガ大キイモノニナリハセヌカト思フノデアリマス、ソレヲ是ハ事實デアリマス、サウスルト假リニ昭和十八年度ヲ考ヘテ見ルト、百三十億ノ國民消費額ト云フモノガ、昭和十八年度ノ豫算ノ全體ヲ通ジテ出テ居ル間接國稅ト云フモノハ、是ハ大雜把ニ勘定シテ大體四十五億程度デハナイカ、之ヲ合セルト百七十五億ノ生計費ト云フコトニナル譯デアリマス、百七十五億ト云フノモ大雜把ナ計算デアリマスガ、一億國民ノ百七十五億ノ生計費ト云フモノハ、一年間ニ一人百七十五圓ノ生活費ニナル、月ニ見積リマシテ十圓五十錢、之ヲ一日ニ見積ルナラ四十八錢ト云フモノガ出テ來ルノデアリマス、無論是ハ農村、ガ都會ヲ通ジテ頭數デ割ツタ平均デアリマシ

テ、農村ハ是レ程要ラヌカモ知レマセヌガ  
都會ハ更ニ是レ以上使ツテモ宜イコトニナ  
ル譯デアリマス、兎ニ角一人平均ノ生活費  
ヲ四十八錢、五十錢内外デシロト云フ基準  
ヲ大臣ガ示サレタコトニナル、所ガソレデ  
ハ所詮生活ハ出來ナイ、併シ御示シニナツ  
テ居ル二百七十億ノ貯蓄ハ、大臣ノ言葉ニ  
常ニ出テ來ルヤウニ、國民ノ非常ニ熱誠ニ  
依ツテ出來上ツテ居ル、ソレヲヤツテ更ニ  
堂々生活ヲシテ居ルノデアリマスカラ、四  
十八錢、五十錢平均ノ生活ハトテモソレデ  
ハ出來テ居ナイ、斯ウ云フ點カラ結果ヲ先  
ニ見テ物ノ判断ヲスルノデアリマスガ、昨  
年ノ五百億ト云フ觀點ガ狂ツテ居ルノデハ  
ナイカ、隨テ又本年ガ百五十五億、ソレニ  
間接國稅ヲ加ヘテモ昨年ヨリズツト減ル譯  
デアリマスガ、一體此ノ生計費ヲ以テ國民  
生活ノ基準トセラル、ト云フコトハ、結局  
國民所得ノ計算ニ見誤リガアルノデハナイ  
カ、斯ウ者ヘルノデアリマス、然ラバ大體  
本年ノ國民所得ノ金額ガドレ位ニ上ルカト  
言ヒマスト、先ヅ大體六百五十億程度ニ上  
ルノデハナイカ、斯ウ云フヤウナ考へ方ヲ  
持ツノデアリマスガ、大體國民ガ決戰生活  
ヲシマス上ノ基準ヲ示サレタコトガ、國民  
生活ノ實情ニ照シテ見テ即シナイト云フコ  
トデハ、ソレハ單ナル空理空論ニ終ル譯デ  
アリマス、コヽヲ私ハ案ジテ居ルノデアリ  
マスガ、御所見ハ如何デアリマスカ

會ナドモウ何モ彼モ田舎カラ送ツテ貰フモノハナイ、全部金ヲ出シテ買フノダ、家モノ借リテ居ルノダ、斯ウ云フノヲ見積リマスト仲々高クナルノデアリマス、併シ田舎家ハ自分ノモノデアル、野菜ハ裏デ作ル、米モ作ルト云フヤウナ所デ金錢ガ幾ヲ出ルカト云フト、隨分安イ質素ナ暮シヲシテ居ルノモアルト思フ、ソレデスカラ百十五億是ハ少イヤウニ見エマスガ、今言ツタヤウニ六十億ナラ六十億間接稅ガアル、是ハ普通ノ家計ノ計算ヲスル時ヘ生計費ニ入レテ居ルガ、實際ハ生計費デハナイ、ソレダケノ消費ハシナイ、ソレハ稅金トシテ頂戴シテ居ル、ソレヲ入レテモ少イト思ヒマスガ、ソレニ實物收入ガアリマス、ソレカラ詳シク申シマスルト金錢所得デアリマスカラ、田舎デ米ヲ作ツテ自分デ食ベテ居ルモノハ、肥料ナド買フコトハアリマスガ、大體ハ實物支出デアリマス、サウ云フモノヲ入レマスト大體私ハアレデ當ツテ居ルト思ヒマス○田中(伊)委員 今度ハ煙草ノコトデ多少根本問題ニ觸レタコトヲ大臣ニ御伺ヒ致シタイ、昨日ノ委員會デ專賣局長官カラ煙草ノ將來ノ値上ト云フコトハ必ズシモヤラナイトハ言ヒ難イト云フ御説ガアツタノデアリマス、ソレハ無理トハ思ハヌノデアル、大體私ノ時間ガアリマセヌカラ質問ノ結論ヲ先ニ申上ガマスガ、私ハ一口ニ言フト、煙草ノ實績配給ト云フモノヲ行ツテハドウカト云フ意見ヲ持ツノデアリマス、今日煙草ヲ喫ム習性ヲ持ツテ居ル人ニ對シテノミ煙草ノ配給ヲ行ヒ、現在喫マザル人、將來ナル御意思ハナカラウカ、一寸ソレダケデ

八 暗拍子 モナイ話ノヤウニ聽エルノデ、聊カ説明ヲ付加ヘマスト、煙草ト云フモノハ國民保健上ニ相當ナ害ガ考ヘラレル、害ヲ具體的ニ申上ガルコトハ何デモナイコトデスガ、例ヘバ十五年乃至二十五年間煙草ヲ吸フ習性ヲ續ケテ居リマスト、先づ第一罹り易イノハ動脈硬化症、或ハ高血壓症ニアリマス、或ハ狹心症アルトカ、脳溢血ト云フヤウナモノハ、煙草ノ害ガ影響シテ居ル所ガ頗ル多ク、一般ニ知ラレテ居ラヌコトデ、煙草ノ害ヲ研究シテ居リマス専門家ノ説ヲ聞イテ見ルト、一般ニ考ヘラレテ居ラナイコトデ慢性的ナ呼吸器病、殊ニ呼吸器病ガ慢性的ニナリ易イト云フ害ガアルヤウデアリマス、呼吸器病ニ罹ツタ場合ニ於テ、特ニ煙草ノ害ノ影響ヲ受ケテ居ル體質デハソレガ慢性ニナリ易イ、更ニ驚ケキ事實ハ、二十年乃至二十五年ノ間煙草ヲ吸フ習性ノアル人ハ、其ノ平均壽命ニ於テ五年乃至五年六箇月ノ短縮ガアルト言ハレルノデアリマス、斯ウ云フ風ナ害毒ヲ舉ゲテ參リマスルト限リナイ害毒ガアル、單ニ他ノ國家ノ立場ト云フモノヲ考慮ニ入レナクテ、國民保健ト云フ立場カラノミ之ヲ考ヘマスルナラバ、煙草ト云フモノハ全廢すべき宜イト云フ結論ハ理論ノ上カラ出テ參リマス、出テ來ルノデアリマスガ、是ハ又能ク反面ヲ考ヘテ見ルト、人間ノロニ致スモノノ中デ、煙草程説明ノ出來ナイ歟モノダト云フコトガ言ヘルノデアリマシテ、煙草ソレ自體ノ持ツテ居ル一ツノ説明ルト、何トモ言ヘナイ魅力ヲ持ツテ居ル

用スルコトモ必ズシモ惡イトハ言ヘナイ、  
是ハ良イ方面デアリマス、害毒ハ能ク分ツ  
テ居ルノダケレドモ、害毒アルニ拘ラズド  
ウシテモ煙草ヲ吸フコトヲ廢メ切ルコトガ  
出來ナイト云フ一ツノ心持ガ國民ノ中ニア  
ルコトモ言フヲ俟タヌ、ソコデ私ハ雙方ニ云  
考ヘル時ニ、サウ云フ風ナ煙草ノ持味デア  
ルトカ、煙草ニ對スル魅力デアルトカ云  
モノハ、今日習性ヲ有スル人ノミガ感ジテ  
居ルコトデアル、今日習性ヲ有セザル人ハ  
サウ云フヤウナ魅力ハ感ジテ居ラス譯デア  
リマス、現在ニ於テ喫ム習性アル人ニノミ  
煙草ノ實績配給ヲ行フト云フコトニナリマス、  
スレバ、ソレガ將來ニ及ボス影響ト云フチ  
ノハ、段々ト年ガ經ツニ從ツテ煙草ノ需要  
ト云フモノガ減少シテ行クト云フ譯デアリマス、  
新タナ實績ヲ認メナインデアリマスカラ減  
少シテ參ル譯デアリマス、體位モ段々ト白  
上シテ來ルコトハ言フヲ俟タヌノデアリマ  
シテ、僅カニ今日ニ於テハ作付反別モ四五  
ノ中一割位ガ田ニ作付シテ居ルヤウデアリ  
マスガ、斯ウ云フモノモ僅カナモノデハア  
リマスケレドモ、漸次減少シテ行クト云フ  
コトガ考ヘラレル、又殊ニ肥料ノ問題ノ如  
キモノガ、今日金肥ナドニ付テハ相當ナル  
金肥ヲ要シテ居ル、一反ニ付テハ十五貫  
至二十貫ノ金肥ヲ要シテ居ルト云フノデア  
リマスガ、之ヲ四萬町歩ト考ヘテ見マスト  
相當大キナ金肥ヲ要シテ居ルト云フ、直  
ブベキ現象ニナツテ來ルコトモ極メテ明瞭  
デアリマス、又一反ニ對シテ六十人トカ或  
ハ七十人ト云ツタヤウナ勞力ヲ消費シテ居

リマス、此ノ莫大ナル四萬町歩ニ瓦リマス  
勞力モ、是モ年々歲々減少ヲシテ行ク方向  
ヲ辿ルコトモ明カデアル、煙草ヲ製造スル  
ニ要スル所ノ資材、動力、斯ウ云フモノノ  
轉用モ益々可能ニナツテ來ルト云フ現状ニ  
ナルノデアリマシテ、ドノ面カラ見テモ現  
在喫ム習性ヲ有スル人ニ對シテノミ實績配  
給ヲ嚴格ニ行フ、將來ノ習性ハ之ヲ認メナ  
イト云フ方針ヲ執ルコトガ、國民保健ノ上  
カラモ、其ノ他諸般ノ戰力増強ト云フ觀點  
カラ考ヘテ見テ、此ノ際國民ガ決戦下ノ決  
勝生活ヲ斷行シナケレバナラヌ時ニ於テハ  
モウ行ツテモ宜イノデハナイカ、斯ウ云フ  
風ニ考ヘルノデアリマス、煙草ニ關スル問  
題デハアリマスガ、根本問題ニ觸レルノデ  
大臣ノ御所見ヲ伺ヒマス

○賀屋國務大臣 煙草ニ付キマシテモ、酒  
ニ付キマシテモ、私ハ詳シクハ存ジマセヌ  
ガ、只今御述ベニナリマシタヤウナ健康上  
ノ害ト云フヤウナコトニ付キマシテモ、度  
慶聽カサレル機會ガアルノデアリマス、何  
シロ長イ間ノ全人類ノ嗜好デアリマシテ、  
隨分害ノ方面モ多イノデアリマス、併シ御  
話ノヤウナ説明シ難イ又益ノ方面モアル、  
之ヲ全體カラ考へマシテ、スツカリ廢ヌル  
カ廢メナイカト云フコトニ付キマシテ——又  
今ノ習性ガ既ニアルモノハ仕方ガナイガ、新  
ラシク習性ヲ作ラナイヤウニスル、是ハ斷  
然禁止禁煙カラ見ルト餘程實際のノ御意見  
デアリマスガ、是ハ私ハ判断ガ非常ニ難シ  
イコトト存ジマス、實ハ私自身トシテハ酒  
ヤ煙草ガ一切ナイ方ガ、飲マヌデ濟ム方ガ、  
色々ソレハ飲ム場合ノ利益ハナクナルケレ  
ドモ、利害相殺シテ結局宜インヂヤナイカ  
實ハ是ハ理論ノ根據トシテハ不確カデアリ

マスガ、正直ニサウ考ヘテ居ルノデアリマス、イツノ議會ニアリマシタ御質問ガアリマシテ、サウ言フト後カラ達ツテ叱ラレルカモ知レマセヌガ、二十五歳マズ禁酒禁煙ヲ延バスト云フヤウナ法律ガ出タ時、非常ナ贊成シタイヤウナ氣持モ實ハ持ツテ、居ツタ、併シ今ノヤウニ根本ヲ實績主義デ行クカドウカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ言葉ハ甚ダ惡クナリマスガ、實績ヲ總テ正確ニ捕捉シテ行クト云フコトハ、惡意ガナクトモ非常ナ困難ガ事實アラウト思ヒマス、其ノ困難ガアルト云フコトハ私ハ餘程樂ノ中々行ハレニクイ原因ニモナラウカト思ヒマス、實ハ是等ガ正確ニ捕捉出来ルコトデスト、總テ配給ト云フコトハ私ハ餘程樂ニナルト思フガ、中々ソコガ難シイデヤナイカ、ソレカラ又今ノヤウナ方針デ行ク根本問題ニ付テハ政府トシテハ餘程考ヘナケレバナラヌ點ガアルト思フノデアリマシテ、實ヲ申シマスト、一寸今何トモ申上げ兼ネル所ニアルノデアリマス、酒ハ減リマス、煙草モ殖エナイ、出來ルダケ減シタイト云フ状況ニアル、併シナガラ是ハ又其榮閣内ノ各地ノコトナドヲ考ヘテ見マスト、中々煙草ガ理窟抜キニ必要ナ面モ出タリ——ソレデハコツチデ減シテ向フヘ持ツテ行ツタラ宜イヂヤナイカト云フコトニモナルノデアリマスガ、實ハ非常ニソコラニ難シイ所ガアリマシテ、何トカ消費ヲ減シタイ、併シ是ハ全國民ニ渡ルコトデアリマスカラ、ドウモ規正ト云フコトヲヤレバ一律主義ニナリ易イ、實際ニ適合シナイト云フコトデ、サウ云フコトニ付テハ、酒ノ配給デモサウデスガ、今ノ状態デ決シテ宜イトハ思ツテ居リマセヌ、飲マナイ習慣ノ人ガ飲ムヤウ

モ實際デアラウカト思ヒマシテ色々注意シ  
テ居リマスガ、ドウモマダ完全ニ行カナイ、  
只今ノ御質問ニ對シテ甚ダ要領ヲ得ナイ御  
答ヘデアリマスガ、サウ云フ次第デゴザイ  
マス

○田中(伊)委員 大臣ハ實績配給制度ト云  
フモノヲ採ルニ付テ御決意が出来難イト云  
フ御話デアリマスガ、實績ノ捕捉困難デア  
ルト云フコトノ外ニ何カ具體的ノ理由ガア  
ルノデセウカ

○賀屋國務大臣 是ハ何デモナイヤウナコ  
トデスケレドモ、一寸速記ヲ止メテ申上ゲ  
タイ

○中村委員長 速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○田中(伊)委員 個人的ナコトヲ伺フヤウ  
デスガ、大臣ハ煙草ヲ御喫ヒニナルノデス  
カナラヌノデスカ(笑聲)

○賀屋國務大臣 私ハ昨年ノ三月カラ全部  
廢シテ禁煙シテ居リマス、尤モ私ノ禁煙ハ  
餘り自慢ニナラナイノデ、本當ノ煙草喫ミ  
デヤナイノデゴザイマスカラ、禁煙ハ樂ナ  
ンデゴザイマス

○田中(伊)委員 是ハクドイ理窟ヲ言フコ  
トハ要ラヌコトナシデアリマスガ、今何ガウ  
一番大切ダト云ツテモ、相當長期ニ亘ル戰  
爭ヲヤツテ行クニ於テ人の資源ト申シマ  
スカ、國民ノ體位向上ト云フコトハ如何ナ  
ルコトヲ犠牲ニ供シテモヤツテ行カナケ  
レバナラヌ時ガ來テ居ルト思フ、是ハ決斷  
ヲ以テコトヲ行ヒマセヌト中々實行ガ出来  
ナイ、今申上ゲマシタヤウナ例ガ世ノ中ニ  
認メラレテ居ル、喫煙ノ害毒ト云フコトハ  
極メテ明瞭ナコトナンデアリマス、反対ノ

場合ヲ考へテ見ル時、第一ニ假ニ脈硬化デアルトカ、或ハ脳溢血ニ罹リマシタ時ニ、初回ノ發病ニ醫師ノ忠告ヲ容レテ煙草ヲ止メマシタ人ガ見事ニ健康ヲ回復シテ居ルト云フ事例ハ枚舉ニ追ガナイノデアリマス、是ハ非常ニ眞剣ニ爲政ノ立場ニアル、大局ニ立ツ人ハ、考へテ戴カナケレバ相成ラヌ現實ノ切實ナ問題ダト私ハ思ヒマス、又反對ニ、今私ガ列舉致シマシタヤウナ病氣ニ罹ツテ居リマス人ヲ調べテ見マスト、其ノ申ノ八六%マデハ煙草ヲ喫ム習性ノアル人デアルト云フコトモ極メテ明カデアリマス、一體斯ウ云フ害毒ガ國民ノ體力ニ惡影響ヲ及ボスト云フコトノ、極メテ明白ナルコトハ何人モ異議ヲ挿マナイ、其ノ害毒ハ極メテ明瞭デアル、體位ノ向上ハ如何ナルコトヲ犠牲ニ供シテデモ、總テ忍ブベカラザル所ヲ忍ビ、ドンナ苦勞ヲシテデモ體位ノ向上ノ爲ニハ萬全ノ措置ヲ講ジナケレバナラヌ時期ガ、今日ヨリ切實ナル時ハ建國以來ナ、是ハ言フヲ俟タヌ、大臣ノ御口カラモ屢々出テ居ルコトデアリマス、其ノ時ニ、一體實績捕捉ノ困難ト云フ御説ガアリマシタガ、實績捕捉ノ困難ト云フコトハ此ノコトノミニ止マラナイ、今日マデ統制經濟ヲ進メテ來マスルマデニ、凡ユル方面ニ於テ実績捕捉困難ナモノヲ曲リナリニモ實績ヲ擱ンデ、之ニ依ツテ配給ノ圓滑ヲ期シテ來テ居ルト云ソコトハ、御存ジノ通リノ狀況デアリマス、捨テ難イト云フ氣分ハ私了了解ガ出來ルノデアリマスルガ、一體煙草ヲ捨テ難イト云フヤウナ氣分デ、息ヲ抜ク所ガ何モナイカラ、煙草ダケデ息ヲ抜ケバ宜いデヤナイカト云ツタヤウナ所、高級料亭、飲食店等ヲ存續セシメテ置ク内務省ノ言ツ

テ居ル理由ニ略、近イヤウナ、サウ云フ心機  
ヘガ爲政者ノ中心トナラレル方々ノ頭ニア  
ツタノデハ、私ハ面白クナイト思フノデア  
リマス、是ハ眞剣ニ私ハ當ツテ見タイト思  
フ、ソレデ私ガ御伺ヒヲスルノデアリマス  
ガ、實績捕捉困難ト云フコトノ外ニ、具體  
的ナ、今日ノ時局ノ態勢ニ立ツテ成程ト考  
ヘル理由ガナイ、ソレナラバ私ハ今日習性  
ヲ有スル人ニ取ツテ良意所ト惡イ所ガアル  
ノデス、惡イ所バカリナラ、斷然全廢ヲシ  
テ戴キタイト私ハ思フ、ケレドモ煙草ヲ喫  
ム習性ヲ持ツテ居ル人ガ煙草ヲ吸フト云フ  
所ニハ、又説明ノ出來ナイ所ガアル、其ノ  
雙方ヲ活カサウト云フ苦心ノ結果ノ考ヘ方  
ガ、現ニ煙草ヲ喫ム習性ヲ有スル人ニ煙草ノ  
配給ヲシヨウト云フ實績ノ配給ナノデアリ  
マス、斯ウ云フコトヲ伺ツテ見タイノデア  
リマス、是ハ何回申上ゲテモ同ジコトデ  
アリマスガ、斯ウ云フコトデ私ノ必要ナリ  
ト考ヘテ立ツテ居ルノデアリマス、將來今  
私ノ申上ゲテ居リマスヤウナ意味デ煙草ノ  
實績配給ノ制度ヲ立テルカ立テナイカト云  
フコトニ付テ、眞剣ナル、慎重ナル考慮ヲ  
シテ、研究ヲ致シテ見ヨウト云フ御考ヘガ  
アルカドウカ

○田中(伊)委員 大藏大臣ハ各委員會、本會議等ニ御登場ニナリマシテ、最近シテ居ラレル所ノ御演説ノ内容等ヲ我々拜聽ブシテ、全ク大藏大臣ノ言ハレル如ク、「一切ノ困難ヲ排シテ此ノ時局ヲ乘切ラナケレバナラヌ、サウ云フ心持ガ大臣ノ演説其ノ他ノ態度ニ依ツテ私達ガ學び所ガ隨分多イ、特ニ私ハ大臣ニ伺フノデアリマスガ、色々角度ノ依ツテ其ノ研究ヲ進メルコトガ困難デアルト言ハレルノデアリマスガ、色々ナ角度ト云フコトハ言ヘナイト言フ、ソシテソレハイケナイト云フコトニ付テノ具體的ナ何等ノ御示シガナイ、實績ノ捕捉ガ困難デアルト云フコト外ニ何ニモ御示シニナルコトガナイ、一體斯ウ云フコトニ付テ、國民ノ中ニル答ヘニナラヌト思フノデアリマス、將來研究ヲナサル御意思ガナイト云フ意味デアリマセウカ、研究シテ見ル餘地ガナイト云フ御意思デアリマセウカ

○賀屋國務大臣 御答へハ先程申上ゲタ通りアリマス、又實績ノ捕捉ノ以外ニ理由

ガナイトハ私ハ申シマセヌ、實績デ行クコトが必ズ公平デモナシ、色々實績ノアル

人モ段々ニ減シテ貰ハナケレバナラヌト云フ場合モアリマス、色々ナ場面ガアルト思ヒマシテ、ソレ等ノ點ハ餘程考慮シナケレバナラヌ、今實際問題トシテ考究スルカシ

ナイカト云フ御話デアリマスガ、ソレハ前申上ゲタヤウニ、チョット事情ガアリマシテ差控ヘタイト思ヒマス

○中村委員長 宜シウゴザイマスカ——ソレデハ村澤君

○村澤委員 私ハ農商省關係デ御聞キシタイノデスガ……

○中村委員長 一寸村澤君、本領君ノ先程

葉モアリマシタケレドモ、改メテ一ツ長官

ノ專賣局長官ニ對スル質疑ガ半端ニナツテ

居ルサウデアリマスカラ、ソレヲ今簡單ニ濟マシテ戴キマス、少シオ待ヲ願ヒマス

シテ作爲的デナイト云フ御回答デアリマシタガ、實際ニ於テ此ノ國民ノ經濟道德心ニ

思ヒマスカラ、ドウカ此ノ上トモ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス

次ニ今田中委員カラ大藏大臣ニ煙草ノ實績配給ニ付テノ要請ガアリマシタガ、田中

委員ノ主張ノ根據ハ主トシテ保健上ノ立場カラ——デアツタヤウデアリマス、私ハソレハドウ云フ譯カト云フ御質問デアルノ

デアリマスルガ、結局ハ國民ノ煙草消費量其ノモノヲ本ニシマシテ、專賣當局トシテ

ノ儘デアルト云フコトニ付テ、國民ノ中ニハ煙草ノ製造ナリ配給ヲヤツテ居ルノデア

リマス、御承知ノコトト存ジマスルガ、事變以來ニ於キマンテモ國內ニ於ケル煙草ノ

需要量ト云フモノハ、依然トシテ年々累増ト思フノデアリマス

ソレト云フノハ、今日國民ノ生活必需物資、或ハ其ノ他ノ文化材一般ガ、戰時ナルガ故ニ其ノ入手上非常ナ制約ヲ受ケテ居ル、或

リマシタ、端的ニ申シマスルト、現在需要者ニ對シテノ煙草ノ供給量ト云フモノハ、

寧ロ品揃レノ狀態ニ相成ツテ居ルノデアリマスルガ、兎ニ角我々ト致シマシテハ、國

民ノ需要量ニ對シマシテ餘り窟屈ナ規正ヲヤラナイデ、大體供給ヲヤツテ行クト云フ

方針デ最近マデ來テ居ルノデアリマス、煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居ルシ、或ルモノハサウ云フ制限ヲ受ケナク

テモ極メテ制限セラレタ狀況ニアル、單リ煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居ルモノハ絕對的ナ配給量ニ制限セラレテ居

人モ段々ニ減シテ貰ハナケレバナラヌト云フ

ト思フノデアリマス

〔委員長退席、泉委員長代理著席〕

○賀屋國務大臣 御答へハ先程申上ゲタ通

ソレト云フノハ、今日國民ノ生活必需物資、

或ハ其ノ他ノ文化材一般ガ、戰時ナルガ故ニ其ノ入手上非常ナ制約ヲ受ケテ居ル、或

リマシタ、端的ニ申シマスルト、現在需要者ニ對シテノ煙草ノ供給量ト云フモノハ、

寧ロ品揃レノ狀態ニ相成ツテ居ルノデアリマスルガ、兎ニ角我々ト致シマシテハ、國

民ノ需要量ニ對シマシテ餘り窟屈ナ規正ヲヤラナイデ、大體供給ヲヤツテ行クト云フ

方針デ最近マデ來テ居ルノデアリマス、煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

ルシ、或ルモノハサウ云フ制限ヲ受ケナク

テモ極メテ制限セラレタ狀況ニアル、單リ煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

人モ段々ニ減シテ貰ハナケレバナラヌト思フノデアリマス

ト思フノデアリマス

ソレト云フノハ、今日國民ノ生活必需物資、

或ハ其ノ他ノ文化材一般ガ、戰時ナルガ故ニ其ノ入手上非常ナ制約ヲ受ケテ居ル、或

リマシタ、端的ニ申シマスルト、現在需要者ニ對シテノ煙草ノ供給量ト云フモノハ、

寧ロ品揃レノ狀態ニ相成ツテ居ルノデアリマスルガ、兎ニ角我々ト致シマシテハ、國

民ノ需要量ニ對シマシテ餘り窟屈ナ規正ヲヤラナイデ、大體供給ヲヤツテ行クト云フ

方針デ最近マデ來テ居ルノデアリマス、煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

ルシ、或ルモノハサウ云フ制限ヲ受ケナク

テモ極メテ制限セラレタ狀況ニアル、單リ煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

人モ段々ニ減シテ貰ハナケレバナラヌト思フノデアリマス

ト思フノデアリマス

ソレト云フノハ、今日國民ノ生活必需物資、

或ハ其ノ他ノ文化材一般ガ、戰時ナルガ故ニ其ノ入手上非常ナ制約ヲ受ケテ居ル、或

リマシタ、端的ニ申シマスルト、現在需要者ニ對シテノ煙草ノ供給量ト云フモノハ、

寧ロ品揃レノ狀態ニ相成ツテ居ルノデアリマスルガ、兎ニ角我々ト致シマシテハ、國

民ノ需要量ニ對シマシテ餘り窟屈ナ規正ヲヤラナイデ、大體供給ヲヤツテ行クト云フ

方針デ最近マデ來テ居ルノデアリマス、煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

ルシ、或ルモノハサウ云フ制限ヲ受ケナク

テモ極メテ制限セラレタ狀況ニアル、單リ煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

人モ段々ニ減シテ貰ハナケレバナラヌト思フノデアリマス

ト思フノデアリマス

ソレト云フノハ、今日國民ノ生活必需物資、

或ハ其ノ他ノ文化材一般ガ、戰時ナルガ故ニ其ノ入手上非常ナ制約ヲ受ケテ居ル、或

リマシタ、端的ニ申シマスルト、現在需要者ニ對シテノ煙草ノ供給量ト云フモノハ、

寧ロ品揃レノ狀態ニ相成ツテ居ルノデアリマスルガ、兎ニ角我々ト致シマシテハ、國

民ノ需要量ニ對シマシテ餘り窟屈ナ規正ヲヤラナイデ、大體供給ヲヤツテ行クト云フ

方針デ最近マデ來テ居ルノデアリマス、煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

ルシ、或ルモノハサウ云フ制限ヲ受ケナク

テモ極メテ制限セラレタ狀況ニアル、單リ煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

人モ段々ニ減シテ貰ハナケレバナラヌト思フノデアリマス

ト思フノデアリマス

ソレト云フノハ、今日國民ノ生活必需物資、

或ハ其ノ他ノ文化材一般ガ、戰時ナルガ故ニ其ノ入手上非常ナ制約ヲ受ケテ居ル、或

リマシタ、端的ニ申シマスルト、現在需要者ニ對シテノ煙草ノ供給量ト云フモノハ、

寧ロ品揃レノ狀態ニ相成ツテ居ルノデアリマスルガ、兎ニ角我々ト致シマシテハ、國

民ノ需要量ニ對シマシテ餘り窟屈ナ規正ヲヤラナイデ、大體供給ヲヤツテ行クト云フ

方針デ最近マデ來テ居ルノデアリマス、煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

ルシ、或ルモノハサウ云フ制限ヲ受ケナク

テモ極メテ制限セラレタ狀況ニアル、單リ煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

人モ段々ニ減シテ貰ハナケレバナラヌト思フノデアリマス

ト思フノデアリマス

ソレト云フノハ、今日國民ノ生活必需物資、

或ハ其ノ他ノ文化材一般ガ、戰時ナルガ故ニ其ノ入手上非常ナ制約ヲ受ケテ居ル、或

リマシタ、端的ニ申シマスルト、現在需要者ニ對シテノ煙草ノ供給量ト云フモノハ、

寧ロ品揃レノ狀態ニ相成ツテ居ルノデアリマスルガ、兎ニ角我々ト致シマシテハ、國

民ノ需要量ニ對シマシテ餘り窟屈ナ規正ヲヤラナイデ、大體供給ヲヤツテ行クト云フ

方針デ最近マデ來テ居ルノデアリマス、煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

ルシ、或ルモノハサウ云フ制限ヲ受ケナク

テモ極メテ制限セラレタ狀況ニアル、單リ煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

人モ段々ニ減シテ貰ハナケレバナラヌト思フノデアリマス

ト思フノデアリマス

ソレト云フノハ、今日國民ノ生活必需物資、

或ハ其ノ他ノ文化材一般ガ、戰時ナルガ故ニ其ノ入手上非常ナ制約ヲ受ケテ居ル、或

リマシタ、端的ニ申シマスルト、現在需要者ニ對シテノ煙草ノ供給量ト云フモノハ、

寧ロ品揃レノ狀態ニ相成ツテ居ルノデアリマスルガ、兎ニ角我々ト致シマシテハ、國

民ノ需要量ニ對シマシテ餘り窟屈ナ規正ヲヤラナイデ、大體供給ヲヤツテ行クト云フ

方針デ最近マデ來テ居ルノデアリマス、煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

ルシ、或ルモノハサウ云フ制限ヲ受ケナク

テモ極メテ制限セラレタ狀況ニアル、單リ煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

人モ段々ニ減シテ貰ハナケレバナラヌト思フノデアリマス

ト思フノデアリマス

ソレト云フノハ、今日國民ノ生活必需物資、

或ハ其ノ他ノ文化材一般ガ、戰時ナルガ故ニ其ノ入手上非常ナ制約ヲ受ケテ居ル、或

リマシタ、端的ニ申シマスルト、現在需要者ニ對シテノ煙草ノ供給量ト云フモノハ、

寧ロ品揃レノ狀態ニ相成ツテ居ルノデアリマスルガ、兎ニ角我々ト致シマシテハ、國

民ノ需要量ニ對シマシテ餘り窟屈ナ規正ヲヤラナイデ、大體供給ヲヤツテ行クト云フ

方針デ最近マデ來テ居ルノデアリマス、煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

ルシ、或ルモノハサウ云フ制限ヲ受ケナク

テモ極メテ制限セラレタ狀況ニアル、單リ煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

人モ段々ニ減シテ貰ハナケレバナラヌト思フノデアリマス

ト思フノデアリマス

ソレト云フノハ、今日國民ノ生活必需物資、

或ハ其ノ他ノ文化材一般ガ、戰時ナルガ故ニ其ノ入手上非常ナ制約ヲ受ケテ居ル、或

リマシタ、端的ニ申シマスルト、現在需要者ニ對シテノ煙草ノ供給量ト云フモノハ、

寧ロ品揃レノ狀態ニ相成ツテ居ルノデアリマスルガ、兎ニ角我々ト致シマシテハ、國

民ノ需要量ニ對シマシテ餘り窟屈ナ規正ヲヤラナイデ、大體供給ヲヤツテ行クト云フ

方針デ最近マデ來テ居ルノデアリマス、煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

ルシ、或ルモノハサウ云フ制限ヲ受ケナク

テモ極メテ制限セラレタ狀況ニアル、單リ煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

人モ段々ニ減シテ貰ハナケレバナラヌト思フノデアリマス

ト思フノデアリマス

ソレト云フノハ、今日國民ノ生活必需物資、

或ハ其ノ他ノ文化材一般ガ、戰時ナルガ故ニ其ノ入手上非常ナ制約ヲ受ケテ居ル、或

リマシタ、端的ニ申シマスルト、現在需要者ニ對シテノ煙草ノ供給量ト云フモノハ、

寧ロ品揃レノ狀態ニ相成ツテ居ルノデアリマスルガ、兎ニ角我々ト致シマシテハ、國

民ノ需要量ニ對シマシテ餘り窟屈ナ規正ヲヤラナイデ、大體供給ヲヤツテ行クト云フ

方針デ最近マデ來テ居ルノデアリマス、煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

ルシ、或ルモノハサウ云フ制限ヲ受ケナク

テモ極メテ制限セラレタ狀況ニアル、單リ煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

人モ段々ニ減シテ貰ハナケレバナラヌト思フノデアリマス

ト思フノデアリマス

ソレト云フノハ、今日國民ノ生活必需物資、

或ハ其ノ他ノ文化材一般ガ、戰時ナルガ故ニ其ノ入手上非常ナ制約ヲ受ケテ居ル、或

リマシタ、端的ニ申シマスルト、現在需要者ニ對シテノ煙草ノ供給量ト云フモノハ、

寧ロ品揃レノ狀態ニ相成ツテ居ルノデアリマスルガ、兎ニ角我々ト致シマシテハ、國

民ノ需要量ニ對シマシテ餘り窟屈ナ規正ヲヤラナイデ、大體供給ヲヤツテ行クト云フ

方針デ最近マデ來テ居ルノデアリマス、煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

ルシ、或ルモノハサウ云フ制限ヲ受ケナク

テモ極メテ制限セラレタ狀況ニアル、單リ煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

人モ段々ニ減シテ貰ハナケレバナラヌト思フノデアリマス

ト思フノデアリマス

ソレト云フノハ、今日國民ノ生活必需物資、

或ハ其ノ他ノ文化材一般ガ、戰時ナルガ故ニ其ノ入手上非常ナ制約ヲ受ケテ居ル、或

リマシタ、端的ニ申シマスルト、現在需要者ニ對シテノ煙草ノ供給量ト云フモノハ、

寧ロ品揃レノ狀態ニ相成ツテ居ルノデアリマスルガ、兎ニ角我々ト致シマシテハ、國

民ノ需要量ニ對シマシテ餘り窟屈ナ規正ヲヤラナイデ、大體供給ヲヤツテ行クト云フ

方針デ最近マデ來テ居ルノデアリマス、煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

ルシ、或ルモノハサウ云フ制限ヲ受ケナク

テモ極メテ制限セラレタ狀況ニアル、單リ煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

人モ段々ニ減シテ貰ハナケレバナラヌト思フノデアリマス

ト思フノデアリマス

ソレト云フノハ、今日國民ノ生活必需物資、

或ハ其ノ他ノ文化材一般ガ、戰時ナルガ故ニ其ノ入手上非常ナ制約ヲ受ケテ居ル、或

リマシタ、端的ニ申シマスルト、現在需要者ニ對シテノ煙草ノ供給量ト云フモノハ、

寧ロ品揃レノ狀態ニ相成ツテ居ルノデアリマスルガ、兎ニ角我々ト致シマシテハ、國

民ノ需要量ニ對シマシテ餘り窟屈ナ規正ヲヤラナイデ、大體供給ヲヤツテ行クト云フ

方針デ最近マデ來テ居ルノデアリマス、煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

ルシ、或ルモノハサウ云フ制限ヲ受ケナク

テモ極メテ制限セラレタ狀況ニアル、單リ煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

人モ段々ニ減シテ貰ハナケレバナラヌト思フノデアリマス

ト思フノデアリマス

ソレト云フノハ、今日國民ノ生活必需物資、

或ハ其ノ他ノ文化材一般ガ、戰時ナルガ故ニ其ノ入手上非常ナ制約ヲ受ケテ居ル、或

リマシタ、端的ニ申シマスルト、現在需要者ニ對シテノ煙草ノ供給量ト云フモノハ、

寧ロ品揃レノ狀態ニ相成ツテ居ルノデアリマスルガ、兎ニ角我々ト致シマシテハ、國

民ノ需要量ニ對シマシテ餘り窟屈ナ規正ヲヤラナイデ、大體供給ヲヤツテ行クト云フ

方針デ最近マデ來テ居ルノデアリマス、煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

ルシ、或ルモノハサウ云フ制限ヲ受ケナク

テモ極メテ制限セラレタ狀況ニアル、單リ煙草ノミハ需要スルガ儘ニ供給ガ行ハレテ居

人モ段々ニ減シテ貰ハナケレバナラヌト思フノデアリマス

ト思フノデアリマス

ソレト云フノハ、今日國民ノ生活必需物資、

或ハ其ノ他ノ文化材一般ガ、戰時ナルガ故ニ其ノ入手上非常ナ制約ヲ受ケテ居ル、或

リマシタ、端的ニ申シマスルト、現在需要者ニ對シテノ煙草ノ供給量ト云フモノハ、

寧ロ品揃レノ狀態ニ相成ツテ居ルノデアリマスルガ、兎ニ角我々ト致シマシテハ、國

○本領委員 專賣局納付益金ノ大部分ハ、是ハ煙草ノ賣上ノ收入デアルト思フノデアリマスガ、十八年度ト十九年度ト比ベテ、増額シテ居ル部分ノ内容ハドンナ風デスカ

○濱田(幸)政府委員 十八年度ノ納付益金ハ勿論マダ年度ノ途中デアリマスノデ、決定的ナ數字ハ出テ居チノデアリマスガ、大體ノ見積リデハ十八年一月ニ煙草ノ値上ガアリマシタノデ、所謂追加豫算ト云フ部面ガアリマシテ、合計シマシテ専賣局ノ全體ノ事業ニ依ル益金ガ、大體十億七千四百萬圓位ニナルダラウト思ヒマス、此ノ見積リハ現在ノ事業ノ上カラ見マシテ、殆ド煙草ニ依ツテノ益金デアリマスガ、寧ロ是ヨリモ多ク煙草ノ方デハ益金ガ見込マレテ居ルノデアリマスガ……

○本領委員 御話中デスガ、私ノ御伺ヒシテ居ルノハ十八年度ト十九年度ト比ベテ、十九年度ノ方ガ三億五千萬圓程豫算ガ多クナツテ居リマスガ、ソレハ何ニ依ルノデアリマスカト云フコトデアリマス

○濱田(幸)政府委員 ソレハ大體ニ於テ煙草ノ今度ノ値上ニ依ルモノト見テ宜イト思フノデアリマス

○本領委員 此處ニ私ハ問題ガアルト思フノハ、先程モ大藏大臣ノ御意見ノ中ニ、縦シバ煙草ガ値上サレテモソレダケ生計費ヲ高メナイデ、結局煙草ナラ煙草ノ消費節約ノ方ニ向フコトガ希望サレル、サウスルコトガ切詰メラレタ國民所得中ノ生計費ニ振當テラレテ活キテ行ク所以デアル、斯ウ云策ヲ執リナガラ、煙草ニ關スル限りハ、斯ウシテ煙草ノ値上ニ依リテ三億五千萬圓ト云フヤウナ多額ノ收入ヲ期待シテ居ル、此

處ニ政策上ノ大キナ矛盾ガアル、ソレハ戰爭中ニ於テハサウ物事ハ理窟通リニ行クモノデハナインデアリマシテ、全體的ニハ消費節約ヲ要請シツ、モ、一方ニ多少裕リノアル面ヲ設ケテ置クト云フノハ、確カニ是ハ政治的ナ配慮デアリマセウガ、併シ理窟ハ儲テ措キ煙草ニ關スル限り、モウ今日ノ段階デハ煙草ト云フヤウナ物ノ性質カラ見マシテ、必ズシモ先程田中委員ノ言ハレタ實績配給ト云フヤウナ方法デナクテモ、一般的ニ言ツテ制限配給トデモ言ヒマセウカ、要スルニ今日ノヤウナ自由販賣デナイ行キ方ニ轉換スル時期ガ來テ居ルノハナイカ、斯ウ思フノデス、私自身ハ非常ナ煙草喫ミデアツテ、煙草ヲ吸ヒ得ル量ガ少クナルコトハ甚ダ困ルノデスガ、併シ現ニ「ドイツ」ニ於テモ一人當リ一日ニ何本ト云フ所マデ來テ居ル、殊ニ煙草ガ政府ノ販賣シテ居ルモノデアルト云フ所カラ、幾フ國民ニ消費節約ヲセヨト言ツテモ、要リモシナイ煙草ヲア、云フ風ニ自由ニ賣ツテ居ルダヤナイカ、煙草ヲ買フノト映畫ヲ見ルノト一體ドツチガ惡イノダ、斯ウ云フヤウナ駁論モ出テ來ル譯デアリマスカラ、私ノ意見トシテハモウボツボツ制限販賣ノ所ヘ來テ然ルベキデハナイト致シマシテハ、サウ云フコトニ付キマシテ、所謂事務的ニハ從來デモ既ニ色々ナ研究ハシテ居ルノデアリマスガ、勿論未ダ實行ノ域ニハ達シテ居ナイト考ヘテ居ルノデアリマス、御諒承ヲ願ヒマス

○本領委員 値上ニ依ツテ消費ガ減退スル部分ヲ見込ンデアル、サモアリナント思ヒマスガ、ソレヲ以テ戰時下ニ於ケル消費規正的ナ役割ヲ果シテ居ルト云フ風ニ當局ガ考ヘテ居ラレルナラバ、私ハサウデナイト云フヤウニ考ヘマスカラ、消費規正ヲシテ、ソニニ戰時下ニ於テ強調サレル所ノ精神的效果ヲ擧ゲヨウト思ハレルナラバ、ドウシテモ量的面カラ制約ヲ加ヘナケレバナウシテモ量的面カラ制約ヲ加ヘナケレバナ

○本領委員 值上ニ依ツテ消費ガ減退スル部分ヲ見込ンデアル、サモアリナント思ヒマスガ、今回ノ煙草ノ値上ニ依リマシテ専賣局ノ納付益金ガ約五億二千八百萬圓位殖エル見積リデ居ルノデアリマス、是ハ勿論平年度デスガ、此ノ五億二千八百萬圓ノ

○本領委員 増収ト云フノハ、只今本領委員カラ御話ノアリマシタヤウナ、消費規正ト云フコトガ相當行ハレルコトヲ豫想シテ計算シタ數字ノデアリマス、消費規正ト云フコトヲ若シ見込マナケレバ、是ヨリモ相當六キイ數字ガ出ルト思フノデアリマスガ、サウ云フ見方デ計算致シマシタ金額デアリマスノデ、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、又將來此ノ煙草ノ消費規正或ハ配給方法ノ變更改善ト言ヒマスカ、ヤリ方ヲ變ヘテ行クコトニ付テドウ思フカト云フ御質問デアリマス、之ニ付キマシテハ先程大臣カラモ關聯シテ御答辯ガアリマシタガ、事務當局ト致シマシテモ、此ノ席デ將來サウ云フコトニ付キマシテ、私自身ハ非常ナ煙草喫ミデアツテ、煙草ヲ吸ヒ得ル量ガ少クナルコトハ甚ダ困ルノデスガ、併シ現ニ「ドイツ」ニ於テモ一人當リ一日ニ何本ト云フ所マデ來テ居ル、殊ニ煙草ガ政府ノ販賣シテ居ルモノデアルト云フ所カラ、幾フ國民ニ消費節約ヲセヨト言ツテモ、要リモシナイ煙草ヲア、云フ風ニ自由ニ賣ツテ居ルダヤナイカ、煙草ヲ買フノト映畫ヲ見ルノト一體ドツチガ惡イノダ、斯ウ云フヤウナ駁論モ出テ來ル譯デアリマスカラ、私ノ意見トシテハモウボツボツ制限販賣ノ所ヘ來テ然ルベキデハナイト致シマシテハ、サウ云フコトニ付キマシテ、所謂事務的ニハ從來デモ既ニ色々ナ研究ハシテ居ルノデアリマスガ、勿論未ダ實行ノ域ニハ達シテ居ナイト考ヘテ居ルノデアリマス、御諒承ヲ願ヒマス

○本領委員 値上ニ依ツテ消費ガ減退スル部分ヲ見込ンデアル、サモアリナント思ヒマスガ、ソレヲ以テ戰時下ニ於ケル消費規正的ナ役割ヲ果シテ居ルト云フ風ニ當局ガ考ヘテ居ラレルナラバ、私ハサウデナイト云フヤウニ考ヘマスカラ、消費規正ヲシテ、ソニニ戰時下ニ於テ強調サレル所ノ精神的效果ヲ擧ゲヨウト思ハレルナラバ、ドウシテモ量的面カラ制約ヲ加ヘナケレバナウシテモ量的面カラ制約ヲ加ヘナケレバナ

○本領委員 只今煙草ノ專賣事業ノ益金ノ見積リニ付キマシテ御意見ガアリマシタガ、今回ノ煙草ノ値上ニ依リマシテ専賣局ノ納付益金ガ約五億二千八百萬圓位殖エル見積リデ居ルノデアリマス、是デ打切りマス

○本領委員 端境期ニ至ルマデノ國內食糧全般ノ需要供給ノ見透シ、計畫、是等ヲ數字ヲ示シテ詳細ニ承リタイト思ヒマス

○湯河政府委員 只今ノ御質問デアリマスガ、食糧ノ需給ノ事情ニ付キマシテ、數字ヲ一々舉ガマシテ御説明ヲスル段取ニハマダ行兼ネテ居ル次第デアリマス、實ハマダ色々未定ナ要素ガ澤山ゴザイマンテ、ソレゾレノ關係方面ト折衝中ノモノガ決マリマセヌ、隨ヒマシテ折角ノ御質問デゴザイモ、此ノ席デ將來サウ云フコトニ付キマシテ、積極的ナ研究ヲスルトカ、或ハドウスルトカ云フコトハ、御説明ヲ申サナイ方ガ宜イノデハナイカト思フノデアリマスカラ、其ノ點御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、我々致シマシテハ、サウ云フコトニ付キマシテ、所謂事務的ニハ從來デモ既ニ色々ナ研究ハシテ居ルノデアリマスガ、勿論未ダ實行ノ域ニハ達シテ居ナイト考ヘテ居ルノデアリマス、御諒承ヲ願ヒマス

○本領委員 昭和十九米穀年度ノ食糧事情ノ概要ニ付キマシテハ、豫算總會ニ於キマシテ山崎農商大臣ヨリ相當詳シタル御説明ガアツタカト思ツテ居リマスノデ、實ハソレデ能ク御承知戴キタイト存ジマスガ、併シ事務ヲヤツテ居リマス我々ト致シマシテモ、ソレヽ又我々ノ方面カラノ實情モゴザイマスカラ、ノ九月下旬ニ國內態勢強化ノ方策ガ確立致シタノデアリマス、昭和十九米穀年度ニ於キマシテハ、外米依存ヲ脱却シテ食糧ハ日滿ノ間ニ於テ飽クマデ需給體制ヲ確立スル、斯ウ云フコトニナツタノデアリマス、此ノコトハ新聞紙等デモ毎々御話シテ居ル通りデアリマスガ、之ヲヤツテ參リマスニ付キマシテハ、何分ニモ過去ニ於キマシテ數百萬石ノ外米ヲ輸入シテ居ツタノデアリマスカラ、之ヲ一舉ニナクシマスコトニハ相當

○本領委員 苦心ガ要ルノデアリマス、ヤツテ參リマス

方法ト致シマシテハ、今後供給シ得ル部面、之ヲ出來ルダケ大キクスルト云フコトト、色々起ツテ參リマスル需要ヲ壓縮スルコト、此ノ二面デゴザイマス、供給ノ方ニ於キマシテハ、實ハ昨年ノ秋ノ米ノ穫レ高デゴザイマスガ、第二回豫想收穫高ニ於キマシテ六千二百五十五萬石ト云フ發表ヲ致シテ居リマシテ、平年作ヲ少シ下廻ツテ居ルヤウデアリマス、併シ此ノ米ノ收量ハ、其ノ後更ニ精査ヲ續ケテ居リマスルノデ、マダ確實ナ所ハ分リマセヌ、是等ノ點ガ先程申上ゲマシク數字ヲ以テ御答ヘ出來マセヌ所デアリマスガ、大體モウ少し殖エルノデハイカト考ヘテ居リマス

ハ、朝鮮ノ麥ガ幾ラ穫レルデアラウカト云  
フコト、是ガ今年ノ夏ニナリマセストハツ  
キリ致シマセヌ等ノ事情ガアツテ、朝鮮米  
ノ移入量ガ今後確定ニドレダケデアルト  
云フコトハ申上ゲラレマセヌガ、併シ朝鮮  
ノ當局ニ於キマシテモ、非常ニ熱心ニ内地ノ  
食糧事情ニ對シテ寄與シタイト云フ考ヘヲ  
持ツテ居リマス、臺灣ノ米ニ付キマシテハ、  
過般臺灣ノ十八年第二期米ノ豫想收穫高ヲ  
發表シテ居リマスルガ、三百九十九萬石ト  
云フ數字デアリマシテ、是レ亦平年作ニ比  
ペルト少シ少ノイデアリマス、臺灣米ノ移  
入ニ付キマシテハ、今折衝シ續ケテ居ル最  
中デアリマスガ、是レ亦今年ノ第一期米ノ

ノ天候等ニ付キマシテモ、十分氣ヲ付ケテ行カナケレバナラヌモノト思ツテ居リマス、麥ノ外ニハ芋類ガゴザイマス、是ハ甘諸、馬鈴薯デゴザイマスガ、甘諸ヲ主要食糧トシテ綜合配給致シマスルコトハ昨年若ヤリマシタガ、本年ハ相當多量ニ之ヲ計畫致シテ居リマス、是ハ昨年ノ秋相當既に増產ノ結果ヲ收メテ居リマス、之ヲ綜合配給致シマス爲ニ集荷ヲ致シマスルシ、尙從來色々御批評ノゴザイマシタ腐敗等ノ事實ノナキヤウニ致シマシテ、出來ルダケヲフ主要食糧化シテ參リタイト云フ念願ノドリテヤツテ居リマス、尙甘諸ノ外ニ馬鈴薯ガ、今年ノ春カラ夏ニ掛ケマシテ増產ノノ

マスル困難、支障モゴザイマセウガ、我々  
モ出来ルダケノ手ヲ盡シマシテ、ドウカ是  
等ノ供給ガ完全ニ確保サレルヤウニ致シタ  
イト大ニヤツテ居ル次第アリマス、一  
方先程申シマシタヤウニ、此ノ十九米穀年  
度ヲ乘切りマス爲ニハ、需要ノ方面ニ於キ  
マシテ色々ト考ヘテ行カナケレバナラヌ問題  
題ガゴザイマス、先程モ申シマシタヤウニ  
外米ヲ断ち切ツテ國內食糧、日滿ノ食糧ヲ  
以テ辻棲ヲ合ハシテ參リマス爲ニハ、供給  
ノ確保ヲヤリマシテモ限度ガゴザイマス、  
需要ノ方面ニ於キマシテ野放圖ノ需要ヲ認  
メル譯ニハ參リマセヌノデ、凡ユル角度方  
ラ適當ナ消費規正ヲヤツテ參リタイト考ヘ

〔泉委員長代理退席 委員長著席〕  
併シ此ノ米ニ付キマシテハ、供出ノ問題ガ  
ゴザイマス、只今各府縣當局ガ一生懸命デ  
新米ノ供出ニ當ツテ居リマシテ、マダ全部  
完了致シテ居リマセヌガ、昨年ノ只今頃ト  
比較致シマスルト、相當進捗シテ居ルヤウ  
デアリマス、此ノ點ハ本年度ノ需給事情上  
意ヲ強ウスルニ足ルモノデアルト存ジマス、  
併シナガラ内地ノ米ダケヲ以チマシテハ足  
リナインデアリマス、ヤハリ外地米ヲ相當  
量輸入シナケレバナラヌノデゴザイマスル  
ガ、内朝鮮米ニ付キマシテハ、昨年朝鮮ノ  
收量ガ、第一回豫想收穫高ニ於キマシテ千  
八百七十萬石ト發表サレテ居リマス、是ハ  
一昨年ノ收量ガ非常ニ低ウゴザイマシタノ  
ニ比べマスト、餘程取返シハシテ居リマス  
ガ、併シ平年作ヨリマダ下廻ツテ居ルノデ  
ゴザイマス、朝鮮米ヲ今後ドレダケ我々ノ  
方ニ移入シテ參レルカト云フコトニ付キマ  
シテハ、是レ亦折衝ヲ繼續シテ居ル最中デ  
ゴザイマス、是ト共ニ朝鮮米ノ確保ノ爲ニ

作が決マリマセヌコトニハ確定シマセ又ヤウナ譯デアリマシテ、朝鮮總督府同様ニ内地ノ食糧事情ニ寄與シタイト云フ、熱意ヲ示シテ居ラレルヤウナ譯デアリマス、米ノ方ハサウ云フコトニナツテ居リマスガ、米ダケデ内地ノ需給ガ立テラレマセヌノデ、其ノ外ニ數年前ヨリ麥其ノ他雜穀類、芋類等ヲ綜合配給ニ充テ、居ルノデアリマス、此ノ供給ノ部面ニ於キマシテハ、實ハ麥ハ本年ハ是非トモ相當量ノ増産ヲ期シタイト存ジマシテ、先程申シマシタ外米依存ヲ離脱スル上カラ申シマシテモ、國內ニ於テ米ノ穫レタ後ニ大量ノ供給ヲ確保シ得ルモノハ此ノ麥デゴザイマス、昨年ノ秋以來麥ノ増産ニ非常ニ努力ヲ續ケテ居リマスルシ、各地方農業生産者ニ於キマシテモ、凡ニル障碍ヲ乘越エマシテ、麥ノ増産ニ邁進シテ居リマス、幸ヒ天候モ順調デアリマスルシ、指導モ相當能ク行届キマシテ、只今マデノ所デハ麥ノ播種モ能ク出來マシテ成育モ宜ササウデアリマスガ、是ハ尙今後收穫時

其ノ外ニ昨年ノ雜穀類増産計畫ノ結果、若干ノ雜穀ガゴザイマス、是等ノモノヲ全郵集メマシテモ、尙從來ノ需要量、又今後ルベキ需要ヲ充スコトガ出來マセヌノデ、其ノ餘ノモノヲ満洲ノ雜穀類ノ輸入ニ期待シテ居ルノデアリマス、満洲ノ雜穀ハ御重知デアリマセウガ、今年ハ相當出來モ宜シウゴザイマス、收買モ成績ヲ擧ゲテ居リマスノデ、相當量ノモノヲ内地ニ輸入シ貰ハサウデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテ満洲國側ト色々折衝致シテ居リマス、是等ノ供給ハ實ハ今マデ米乃至ハ米麥ノミヨシ以テ需給計畫ヲ立て、居リマシタコトニ比較致シマスト、相當間口ヲ廣ク致シマシテ、主要食糧化シ得ル差支ヘノナイ限リノモノヲ色々ト搔集メマシテ、供給ノ確保ヲ圖ツテ居ルノデアリマス、是等ノコトニ加ヘマシテ、生産者方面、或ヘ又之ヲ食べマスル消費者方面ノ色々ノ慣レナイコトカラ起リ

上位居部、此ノ如ク概念ニ由  
スル部分ヲ出來ルダケ我慢ヲシテ貰フ、サ  
ウシテ軍需或ハ準軍需ト認メラレマス方面ニ  
付テノ相當量膨脹シテ參リマス需要ヲ賄ツ  
テ參リタイト云フ考ヘヲ持ツテ居ルノチ  
アリマス、民需ノ方ト致シマスレバ、農家  
ノ自家保有米ノ如キモ、實ハ可ナリノ節約  
ヲ求メテ居ルノデゴザイマシテ、即チ本年  
度ノ米穀ノ供出ガ、地方ニ依リマシテハ、農  
家ノ相當ノ負擔ニナツテ居リマスコトハ、  
我ハ能ク承知シテ居リマスガ、一方農家ノ  
手許ニ麥類或ハ芋類、雜穀類等ノ若干ノ手  
持チノアルコトヲ我々豫期致シテ居ルノ云  
ゴザイマシテ、實ハ昨年ノ麥ノ供出或ハ芋  
ノ供出等ニ於キマシテモ、其ノ事情ヲ豫  
致シマシテ、若干手心ヲ加へテ居リマス、  
我々ト致シマシテハ農家ノ方々ニソレ等ノ  
麥或ハ雜穀類等ヲ消費シテ貰ツテ、米ノ供  
出ヲシテ貰ヒタイト云フ趣旨ヲ能ク説キマ  
シテ、實ハ只今ノ供出ヲ求メテ居ルノデア  
シ

ハ、朝鮮ノ麥ガ幾ラ穫レルデアラウカト云  
フコト、是ガ今年ノ夏ニナリマセストハツ  
キリ致シマセヌ等ノ事情ガアツテ、朝鮮米  
ノ移入量ガ今後確定ニドレダケデアルト  
云フコトハ申上ゲラレマセヌガ、併シ朝鮮  
ノ當局ニ於キマシテモ、非常ニ熱心ニ内地ノ  
食糧事情ニ對シテ寄與シタイト云フ考ヘヲ  
持ツテ居リマス、臺灣ノ米ニ付キマシテハ、  
過般臺灣ノ十八年第二期米ノ豫想收穫高ヲ  
發表シテ居リマスルガ、三百九十九萬石ト  
云フ數字デアリマシテ、是レ亦平年作ニ比  
ペルト少シ少イノデアリマス、臺灣米ノ移  
入ニ付キマシテハ、今折衝シ續ケテ居ル最  
中デアリマスガ、是レ亦今年ノ第一期米ノ  
作ガ決マリマセヌコトニハ確定致シマセヌ  
ヤウナ譯デアリマシテ、朝鮮總督府同様ニ、  
内地ノ食糧事情ニ寄與シタイト云フ熱意ヲ  
示シテ居ラレルヤウナ譯デアリマス、米ノ  
方ハサウ云フコトニナツテ居リマスガ、米  
ダケデ内地ノ需給ガ立テラレマセヌノデ、  
其ノ外ニ數年前ヨリ麥其ノ他雜穀類、芋類  
等ヲ綜合配給ニ充テ、居ルノデアリマス、  
此ノ供給ノ部面ニ於キマシテハ、實ハ麥ハ  
本年ハ是非トモ相當量ノ増産ヲ期シタイト  
存ジマシテ、先程申シマシタ外米依存ヲ離  
脱スル上カラ申シマシテモ、國內ニ於テ米  
ノ穫レタ後ニ大量ノ供給ヲ確保シ得ルモノ  
ハ此ノ麥デゴザイマス、昨年ノ秋以來麥ノ增  
産ニ非常ニ努力ヲ績ケテ居リマスルシ、各  
地方農業生産者ニ於キマシテモ、凡ニル障  
碍ヲ乘越エマシテ、麥ノ増産ニ邁進シテ居  
リマス、幸ヒ天候モ順調デアリマスルシ、  
指導モ相當能ク行屆キマシテ、只今マデノ  
所デハ麥ノ播種モ能ク出來マシテ成育モ宜  
ササウデアリマスガ、是ハ尙今後收穫時

ノ天候等ニ付キマシテモ、十分氣ヲ付ケテ  
行カナケレバナラヌモノト思ツテ居リマス、  
馬鈴薯デゴザイマスガ、甘諸ヲ主要食糧ト  
シテ綜合配給致シマスルコトハ昨年若干  
ヤリマシタガ、本年ハ相當多量ニ之ヲ計  
畫致シテ居リマス、是ハ昨年ノ秋相當既に  
増產ノ結果ヲ收メテ居リマス、之ヲ綜合配  
給致シマス爲ニ集荷ヲ致シマスルシ、尙  
從來色々御批評ノゴザイマシタ腐敗等ノ  
實ノナキヤウニ致シマシテ、出來ルダケヲ  
ヲ主要食糧化シテ參リタイト云フ念願ヲ以  
テヤツテ居リマス、尙甘諸ノ外ニ馬鈴薯  
ガ、今年ノ春カラ夏ニ掛ケマシテ增產ノ結  
果ヲ見マスルナラバ、是レ亦主要食糧トシ  
テ綜合配給ヲ致シタイ考ヘデゴザイマス、  
其ノ外ニ昨年ノ雜穀類增產計畫ノ結果、若  
干ノ雜穀ガゴザイマス、是等ノモノヲ全郵  
集メマシテモ、尙從來ノ需要量、又今後起  
ルベキ需要ヲ充スコトガ出來マセヌノデ、  
其ノ餘ノモノヲ満洲ノ雜穀類ノ輸入ニ期待  
シテ居ルノデアリマス、満洲ノ雜穀ハ御蓋  
知デアリマセウガ、今年ハ相當出來モ宜シ  
マスノデ、相當量ノモノヲ内地ニ輸入シテ  
貰ヘサウデアリマス、是等ノ點ニ付キマン  
テ満洲國側ト色々折衝致シテ居リマスシ、  
是等ノ供給ハ實ハ今マデ米乃至ハ米麥ノミ  
ヲ以テ需給計畫ヲ立て、居リマシタコトニ比  
較致シマスト、相當間口ヲ廣ク致シマシテ、  
主要食糧化シ得ル差支ヘノナイ限リノモノ  
ヲ色々ト搔集メマシテ、供給ノ確保ヲ圖ツ  
テ居ルノデアリマス、是等ノコトニ加ヘマ  
シテ、生産者方面、或ヘ又之ヲ食べマスル  
消費者方面ノ色々ノ慣レナイコトカラ起リ

マスル困難、支障モゴザイマセウガ、我々モ出來ルダケノ手ヲ盡シマシテ、ドウカ是等ノ供給ガ完全ニ確保サレルヤウニ致シタム。イト大イニヤツテ居ル次第アリマス、一方先程申シマシタヤウニ、此ノ十九米穀年度ヲ乘切りマス爲ニハ、需要ノ方面ニ於キマシテ色々考へテ行カナケレバナラス問題ガゴザイマス、先程モ申シマシタヤウニ外米ヲ斷チ切ツテ國內食糧、日滿ノ食糧ヲアシテ迂梗ヲ合ハシテ參リマス爲ニハ、供給ノ確保フヤリマシテモ限度ガゴザイマス、需要ノ方面ニ於キマシテ野放圖ノ需要ヲ認メル譯ニハ參リマセヌノデ、凡ユル角度方ラ適當ナ消費規正ヲヤツテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス、之ヲ極ク概念的ニ由上ゲマスレバ、辛抱出來ル限りハ民需ニ屢スル部分ヲ出來ルダケ我慢ヲシテ貴フ、サウシテ軍需或ハ準軍需ト認メラレマス方面ニ付テ相當量膨脹シテ參リマス需要ヲ賄ツテ參リタイト云フ考ヘラ持ツテ居ルノデアリマス、民需ノ方ト致シマスレバ、農家ノ自家保有米ノ如キモ、實ハ可ナリノ節約ヲ求メテ居ルノデゴザイマシテ、即チ本年度ノ米穀ノ供出ガ、地方ニ依リマシテハ、農家ノ相當ノ負擔ニナツテ居リマスコトハ我ハ能ク承知シテ居リマスガ、一方農家ノ手許ニ麥類或ハ芋類、雜穀類等ノ若干ノ手持チノアルコトヲ我々豫期致シテ居ルノ云ゴザイマシテ、實ハ昨年ノ麥ノ供出或ハ苦ノ供出等ニ於キマシテモ、其ノ事情ヲ豫察致シマシテ、若干手心ヲ加へテ居リマス、シテ、實ハ只今ノ供出ヲ求メテ居ルノデアリマスル。

リマス、決シテソレヲ何モナシニ米ダケア  
手ニ入レタイト云フ我利々々デハゴザイマ  
セヌ、是等ノ點ハ農家ニソレダケ食糧ノ節  
約ヲ求メ居ル形ニモナルノデゴザイマス、  
併シ是ハ單リ農家ノミナラズ、一般ノ消費  
者方面ニ向ヒマシテモ、實ハ人口ガ年々相  
當殖エマスルシ、又國民勞務動員計畫ニ  
基キマシテ、勞務者ガ殖エテ參リマス、是  
等ノコトニ基キマスル需要ノ増ハ必然的ノ  
モノデゴザイマシテ、我々トシテハ如何トシ  
テモ之ヲ満シテ參ラケレバナラナイノデゴ  
ザイマスルガ、之ニ付キマシテモ、ソレヽ  
府縣當局ノ手許ニ於キマシテ、何トカ管内  
ノ食糧ノ配給ノ工夫ニ依リマシテ、節約ノ餘  
地ナキヤト云フコトヲ求メテ居ルノデゴザ  
イマシテ、例ヘバ諸トカ、麥類トカ、雜穀類ト  
カノ多イ地方ニ於キマシテハ、政府ガ管理セ  
ザル是等ノ食糧給源ヲ何トカ一ツ當ニシテ、  
サウシテ米或ハ管理主要食糧ノ節約ガ出來  
方面ニ對シマシテ移出致シマスモノニ付テ  
ナイモノデアラウカト云フコトヲ、地方廳ト  
ソレヽ折衝致シテ、消費規正ヲ圖ツテ居ル  
ノデゴザイマス、尙構太或ハ南洋群島等ノ  
マシテ、出セルモノハ出スト云フコトヲ考  
ヘテ居ル次第デアリマスルシ、又酒米ニ付テ  
マシテモ合理的ナル措置ニ依リマシテ、酒米  
ノ消費節約ヲ圖リタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘ  
テ居ルノデゴザイマス、無論戰時下ニ於キマ  
シテ、國民ノ體力ヲ落スヤウナコトガアツテ  
ハ絶對ナリマセズ、又假リニモ食糧ニ付テ  
ノ先行キ不安ヲ持タセルヤウナコトガアツ  
テハナラヌト考ヘテ居リマス、節約ト申  
シマシテモ、徒ラニ數字ヲ小サクスレバ宜  
イト云フヤウナ考ヘハ毛頭ゴザイマセヌ、  
此ノ食糧ヲ飽クマデモ自給スルト云フ決意

能ク政府ノ當局モ申シテ居リマスヤウニ、  
國民的基準ト申シマスカ現在ノ配給基準  
量ハ之ヲ飽クマデモ變ヘズニ參ルト云フコ  
約ヲ致シ、此ノ戰爭下ニ於キマシテ軍需或  
ハ軍需產業方面ニ於キマシテ、ソレコソ人  
數モ殖エテ參リマセウシ、又勵ク時間モ長  
クナツテ晝夜兼行ニ作業致シマスヤウナ時  
ノ食糧ト云フモノヲ、何トカシテデモ、少  
シデモ確保シテ參リタイト云フ氣持ヲ持ツ  
テ居リマスルノデ、民需ノ方面ニ對スルモ  
ノヲ出來ルダケ規正ヲ致シ、軍需又ハ準軍  
需ト認メラレマス方面ノ確保ヲ圖ツテ參リ  
タイト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ルノデア  
リマス、只今申シマシタ供給方面ト需要方  
面トノ色々ノ實情ヲ、數字ヲ借リマセヌデ  
ハゴザイマスガ、アリノ儘ニ申上ガタノデ  
ゴザイマス、我々ハ此ノ結論ト致シマシテ、  
日滿ノ範圍ニ於テ食糧ノ自給自足ヲスルコ  
トハ、只今ノ我々ノ持ツテ居リマスル資料  
カラ申シマスレバ、見透シヲ確實ニ持ツテ  
馬鈴薯デアリマストカ、是等ノモノガ果シ  
テ豫期以上ノ收穫ヲ舉ガルカドウカト云フ  
コトガ、昨夏以上ニ食糧事情ニ大キナ影響  
例ヘバ此ノ夏收穫サレル麥デアリマストカ、  
馬鈴薯デアリマストカ、是等ノモノガ果シ  
成育サレツ、アル麥ノ手入レ、之ニ對ス  
ル技術上ノ指導ソレ等ノ重要性ハ言フマデ  
モナイト思フノデアリマス、麥ハ是ハ天下  
ヲ持ツノデアリマス、サウ致シマスト目下  
明カナ事實デアリマスガ、技術的ナ措置ノ  
善シ惡シニ依ツテ收穫ニ非常ニ大キナ開キ  
ヲ持ツノデアリマス、或ル篤農家ノ如キハ、  
例ヘバ靜岡縣ノ駿東郡ノ或ル所ニ行ケバ、  
反當リ三十俵穀ルト云フヤウナ收量ヲ示シ  
テ居ルノデアリマス、私共雪ノ降ル北陸地  
方ノ若干ノ村ヲ色々調べテ見マシテモ、或  
ル一ツノ村ニ同ジ條件ノ下ニ置カレテアル  
麥ノ畠デ、片一方ハ反當リ十俵モ穀ルシ、  
度ノ食糧事情ノ上ニ於テ非常ニ大キナ意味  
ヲ持ツテ居ルノデゴザイマスカラ、農商省  
刻來カラ御話ノアリマスル通リニ、本年ノ  
麥ノ收量ノ如何ト云フコトハ、十九米穀年  
度ノ食糧事情ノ上ニ於テ非常ニ大キナ意味  
ヲ持ツテ居ルノデゴザイマスカラ、農商省  
トシマシテハ昨年來此ノ點ニハ非常ナル  
努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、幸ヒニ薄  
付ノ狀況ハ私共各府縣ト協議致シマシテ、  
全國的ニハ二百萬町歩ノ作付ト云フコトヲ  
目標ニシテ仕事ニ掛ツタノデアリマス、ソ  
レデ十月一日カラ此ノ作付面積ノ確保ヲ目  
標トシテノ、作付ノ完遂運動ト云フモノヲ

○村瀬委員 只今ノ御答辯ニ依リ、例ヘバ  
食糧ノ確保ヲスル爲ニハ、農家バカリデナ  
シニ、消費者ノ方モ非常ニ努力ヲ拂ハネバ  
ナラスト云フ御所見デアリマシタガ、其ノ  
通リデアリマス、私モ思フノデアリマスガ、  
例ヘバ此ノ夏收穫サレル麥デアリマストカ、  
馬鈴薯デアリマストカ、是等ノモノガ果シ  
テ豫期以上ノ收穫ヲ舉ガルカドウカト云フ  
コトガ、昨夏以上ニ食糧事情ニ大キナ影響  
馬鈴薯デアリマストカ、是等ノモノガ果シ  
成育サレツ、アル麥ノ手入レ、之ニ對ス  
ル技術上ノ指導ソレ等ノ重要性ハ言フマデ  
モナイト思フノデアリマス、麥ハ是ハ天下  
ヲ持ツノデアリマス、サウ致シマスト目下  
ガ出来テ居ルノデアリマスガ、是ガ農家ノ  
一人々々ニ徹底サレテ居ルカ、厲行サレテ  
山ニ居ラレマス、各府縣ニ行ケバ耕種ノ改造  
テハコンナ手當ヲスルノダト云ツタ努力ヲ  
スルコトニナレバ、豫期以上ノ收穫ヲ舉ゲ  
得ルト思ヒマス、要スルニ技術ノ徹底ニア  
リマス、農商省ニ於テモ府縣ノ農事試驗場  
ニ於テモ、ソレヽ技術ノ方面ノ方々ガ澤  
ニ垂ントスル麥ノ畠ノ一枚々々ニ付テ、全  
ルノデハナイカト私ハ思フノデアリマス、  
テ参ラナケレバナラスト思ツテ居ル次第デ  
ゴザイマス

○村瀬委員 只今ノ御答辯ニ依リ、例ヘバ  
食糧ノ確保ヲスル爲ニハ、農家バカリデナ  
シニ、消費者ノ方モ非常ニ努力ヲ拂ハネバ  
ナラスト云フ御所見デアリマシタガ、其ノ  
通リデアリマス、私モ思フノデアリマスガ、  
例ヘバ此ノ夏收穫サレル麥デアリマストカ、  
馬鈴薯デアリマストカ、是等ノモノガ果シ  
テ豫期以上ノ收穫ヲ舉ガルカドウカト云フ  
コトガ、昨夏以上ニ食糧事情ニ大キナ影響  
馬鈴薯デアリマストカ、是等ノモノガ果シ  
成育サレツ、アル麥ノ手入レ、之ニ對ス  
ル技術上ノ指導ソレ等ノ重要性ハ言フマデ  
モナイト思フノデアリマス、麥ハ是ハ天下  
ヲ持ツノデアリマス、サウ致シマスト目下  
ガ出来テ居ルノデアリマスガ、是ガ農家ノ  
一人々々ニ徹底サレテ居ルカ、厲行サレテ  
山ニ居ラレマス、各府縣ニ行ケバ耕種ノ改造  
テハコンナ手當ヲスルノダト云ツタ努力ヲ  
スルコトニナレバ、豫期以上ノ收穫ヲ舉ゲ  
得ルト思ヒマス、要スルニ技術ノ徹底ニア  
リマス、農商省ニ於テモ府縣ノ農事試驗場  
ニ於テモ、ソレヽ技術ノ方面ノ方々ガ澤  
ニ垂ントスル麥ノ畠ノ一枚々々ニ付テ、全  
ルノデハナイカト私ハ思フノデアリマス、  
テ参ラナケレバナラスト思ツテ居ル次第デ  
ゴザイマス

○石井(英)政府委員 只今麥ノ増産ノ確保  
導ノ徹底ニ付テ農商省ノ持ツテ居ラレル目  
下ノ御用意ヲ承リタイト思フノデアリマス  
居ルカト云フ問題デアリマス、此ノ技術指  
導ノ徹底ニ付テ農商省ノ持ツテ居ラレル目  
下ノ御用意ヲ承リタイト思フノデアリマス  
ニ付キマシテノ御尋ねデゴザイマスガ、先  
刻來カラ御話ノアリマスル通リニ、本年ノ  
麥ノ收量ノ如何ト云フコトハ、十九米穀年  
度ノ食糧事情ノ上ニ於テ非常ニ大キナ意味  
ヲ持ツテ居ルノデゴザイマスカラ、農商省  
トシマシテハ昨年來此ノ點ニハ非常ナル  
努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、幸ヒニ薄  
付ノ狀況ハ私共各府縣ト協議致シマシテ、  
全國的ニハ二百萬町歩ノ作付ト云フモノヲ  
目標ニシテ仕事ニ掛ツタノデアリマス、ソ  
レデ十月一日カラ此ノ作付面積ノ確保ヲ目  
標トシテノ、作付ノ完遂運動ト云フモノヲ

實行政

シタノデアリマス、是ニハ關係官廳

ノ協力ハ勿論ノコト、農業部門其ノ他ノ關係團體、翼賛會、翼壯、青少年團ト云フヤウナ各方面ノ協力ヲ得マシテ、全國的ニ此ノ運動ヲ實行致シタノデアリマス、更ニ各方面ノ關係者ノ方々ニ地方々分擔ヲシテ、激励ニ出テ戴イタト云フヤウナ措置ヲシマシタ、此ノ間ニハ麥ノ價格ノ引上ト云フヤウナ措置モゴザイマシテ、全國的ニ麥ノ作付ヲ完遂スルト云フ熱意ハ非常ニ昂揚セラレタヤウニ觀察ヲ致シテ居ルノデアリマス、只今マデ各地方ノ状況ヲ取調ベテ居リマスガ、作付面積ノ確保ノ方ハ相當ノ成績ヲ擧げ得タヤウニ考ヘテ居リマス、ソコデ問題ハ今後ノ肥培管理ノ如何ト云フコトニ相成ル譯デアリマス、御説ノ通り此ノ點ハ極力努力ヲ拂ハナケレバナラヌ、其ノ技術指導ノ前提トシマシテハ只今モ御詎ノアリマシタ通り、耕地改善基準ト云フモノヲ數年來各地方別ニ立テ居リマス、ソレカラ施肥ニ關シマシテモ施肥標準ヲ決ヌマシテ、之ヲ實行セシメルヤウニ進メテ居リマス、最近ハ御承知ノヤウナ事情デ、肥料ノ配給モ段々窮屈ニナツテ參ツテ居リマスカラ、此ノ現狀ニ即シテ施肥ノ方法モ隨時改訂ヲ加ヘテ、地方別ニ決メルト云フ措置ヲ執ツテ居ルノデアリマス、問題ハ、此ノ耕地改善基準ナリ施肥基準ヲ、現實ニ各農家ニ實行セシメル方法ト云フコトニ相成ル譯デアリマス、ソコデヤハリ是ハ一つノ全國的ナ農村ノ運動トシテ實行シナケレバナラスト云フコトデ、作付完遂ノ運動ト同ジヤウナ方式ニ依リマシテ、此ノ一月ノ二十日カラ麥ノ手入ノ完遂運動ト云フモノヲ實行シツ、アルノデゴザイマス、各府縣トモ此ノ點ニ非常ナ馬力ヲ掛ケマシテ、各末端ノ町村

ナリ部落ナリニ參リマスレバ、其ノ標準方  
法ヲ實行スベキ一齊實施ノ期間ヲ設ケマシ  
テ、其ノ期間ハ一切ノ行事ハヤラナイ、總  
テヲ麥ノ手入ニ集中スルト云フコトニシマ  
シテ、是ハ地方ニ依ツテ色々ヤリ方ハゴザ  
イマスガ、其ノ手入ノ濟マナイ所ノ境ニハ  
赤イ札ヲ立テルトカ云フヤウナコトヲシマシ  
テ、各農家ガ否デモ應デモソレヲヤラケレ  
バナラナイヤウニ仕向ケル措置ヲ、各地方デ  
色々ノ工夫ヲ凝ラシテヤツテ居リマス、旗ヲ  
立テルトカ札ヲ立テルト云フヤウナコトモ  
其ノ一例デアリマスガ、何トシテモ放ツテ  
ハ置ケナイト云フ風ニ持ツテ行ク措置ヲ執  
ツテ居ルノデアリマス、近ク又此ノ農業關  
係ノ方々ニ地方へ出テ戴イテ、現地デ其ノ  
激勵ヲシテ戴キタイト云フヤウナコトヲ只  
今計畫ヲシテ居ル譯デアリマス、御說ノ通  
リ是ハドウシテモ一つノ農村ノ全體運動的  
ナ行キ方デヤラナケレバナラヌト云フコト  
デ、只今其ノ手入ノ完遂運動ヲ實行シツ、  
アルヤウナ狀況デアリマス

ス、所ガ實際問題トシマスト此ノ篤農家ハ  
多ク埋レテ居ル、折角優秀ナ技術ヲ持ツテ  
居リナガラ、其ノ技術ガ僅カニ其ノ篤農家  
個人、若シクハ其ノ附近ノ若干ノ人ニ示サ  
レテ、或ハ實行ナレテ居ルト云フ程度デ、  
實ハ埋レテシマフト云フノモアルノデアリ  
マス、私ハ篤農家ヨソ實ハ農村ノ謂ハバ寶  
デアルト思フノデアリマス、全國的ニ恐ラ  
ク之ヲ尋ネルナラバ、非常ニ澤山ナ數ニナ  
ルト思フノデアリマス、此ノ食糧増産ノ大  
事ガ叫バレテ居ル時ニ、何トカシテ此ノ地  
方ニ埋レテ居ル篤農家ヲ、全國的ノ規模ニ  
於テ總蹶起セシメテ、彼等ノ持ツテ居ル優  
秀ナ技術ヲ、細大洩ラサズ、何等カノ形ニ  
於テ活用スルヤウナ大キナ施策ヲ必要トスル  
ノデハナイカト實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、  
農業會ニシマシテモ、農業會ノ以前ハ農會  
デアリマスガ、各町村毎ニソレトキ技術員  
モ居リマス、所ガ技術員ノ實際ノ狀況ヲ見  
マスト、技術指導ヨリモ寧ロ事務の諸般  
ノ雜務ニ追ハレテ、肝心ノ眞面目ノ技術ノ  
指導ノ時間ガナイト云フヤウナ例モ若干ア  
ルノデアリマス、各町村ニ居ツテ、而モ隅ニ  
ニ居ツテ、ガツチリト技術ノ指導ヲ爲シ  
得ルヤウナ力ヲ持ツタ諸君ヲ、此ノ際全國  
的ノ規模ニ於テ總蹶起セシムル必要ガアル  
ト思フシ、ソレカラ各地方ニ埋レテ居ル篤  
農家諸君ニモ蹶起ヲ求メテ、是等ノ力ヲ集  
大成シテ、細大洩ラサズ技術ノ動員ヲ行フ  
ト云フコトニ依ツテ、日本ノ食糧増産ヲ劃  
期的ニ私ハ成シ遂ゲネバナラヌノデヤナイ  
カト思フノデアリマス、麥や薯ノ如キハ技  
術的ナ處置サヘ宜ケレバ、平年作ノ二倍ヤ  
三倍ハ行ケルト思ヒマス、薯ノ如キモウマ  
ク行ケバ、先ヅ豫定ノ二倍ヤ三倍ハ行ケル

ト私ハ思フノデアリマス、斯ウ云フ大キナ  
増産ノ餘地ヲ残サレテ居ル麥モ薯モ、本當  
ニ篤農家ノ技術ヲ活用サレルコトヲ政府ガ  
御考ヘニナレバ、食糧増産モ達セラレルト  
思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テノ御所  
見ヲ承リタイト存ジマス

○石井(英)政府委員 實際家ノ技能經驗ヲ  
此ノ機會ニ大イニ活用ヲ圖リマスルコトノ  
必要ハ、全ク私共御同感デアリマシテ、此  
ノ點ニ付テハ農商省トシマシテモ、殊ニ一  
昨年アタリカラ努力ヲ致シテ居ルノデアリ  
マス、栽培ノ技術ト云フ問題ニナリマスレ  
バ、ソレドヽノ地方ノ氣候風土ニ適シタ、  
又土質ニ適シタ實際ノ經驗ト云フモノガ口  
ヲ利ク部面ガ非常ニ大キイノデアリマス、  
農業會ノ方面ノ技術者、ソレカラ縣ノ試驗  
場ノ技術者ノ指導ト云フコトモ勿論大切デ  
ハアリマスガ、増產上ノ效果ト云フ上ニ於  
テ實際家ノ指導ヲ強力ニ活用スルコトノ分  
野ハ、非常ニ大キイト我々ハ考ヘテ居リマ  
ス、殊ニ昨年來努メテ居リマスノハ、甘諸  
ノ大增產ヲ實行スルニ當リマシテ、甘諸ニ  
關スル研究ハ實ハ從來ハ餘リ行ハレテ居ラ  
ナカツタノデアリマスガ、此ノ問題ニ付テ  
ハ各地方デソレドヽ諸作リノ名人ガ御承知  
ノヤウニゴザイマス、是等ノ人々ニ實際働  
イテ貴フコトガ一番手ツ取早イ方法ダラウ  
ト云フコトデ、諸ノ增產ニ付テハ各府縣ニ  
諸ノ增產ノ指導本部ト云フヤウナモノヲ設  
ケマシテ、ソコヘ篤農家、經驗家ヲ、何等  
カノ形デ、或ハ委員トカ、或ハ參與ト云フ  
行ヲ致シタノデアリマス、其ノ爲ニ府縣ト  
コトデ入ツテ貴ヒマシテ、サウシテ其ノ人  
人ニ實地ノ指導ヲ擔任シテ貴フト云フ方法  
ヲ立テテ、府縣ニモ其ノ事ヲ申シテ、又實

シテ働キ宜イヤウニト云フコトデ、若干ノ  
補助金モ中央ノ方カラ府縣ニ出シタト云フ  
ヤウナコトデアリ、又中央ニモ諸ノ増産ニ  
付テ特別ノ委員會ヲ設ケマシタガ、其ノ中  
ニ數名ノ實際家ニ入ツテ貰ヒマシテ、農事  
試驗場ノ技術者、大學ノ先生ト云フヤウナ  
モノト一緒ニ、現實ノ實際ノヤリ方ノ協議  
ヲスルト云フヤウナコトモ致シテ參リシ  
タ、此ノ間ニハ若干ノ考ヘ方トカ説明ノ仕  
方ト云フコトニ付テ意見ガ違フト云フヤウ  
ナ所モゴザイマシタケレドモ、大局的ニハ  
漸次一緒ニナツテヤルト云フ空氣ガ出來テ  
參リマシタノデ、今後モ斯ウ云フ方向ハ出  
來ルダケ強ク進メテ參リタイト考ヘテ居ル  
ノデアリマス、尙府縣ノ農事試驗場ノ動  
キ方、働キ方ト云フモノヲ專ラ實際ノ應用  
ノ實地指導ノ機關ト云フコトニ切換ヘテ行  
カナケレバナラスト云フ情勢ニアリマスル  
ノデ、地方ノ農事試驗場ニ實際ノ經驗家、篤  
農家ト申シマスカ、サウ云フ優秀ナ人ニ參  
與ト云フヤウナ形デ入ツテ貰ツテ、サウシ  
テ實際ノ指導ヲ擔當シテ貰フト云フコトニ  
スルノガ、一つノ方法デハナイカト云フコト  
デ、サウ云フ方針ヲ決メテ地方ニ出シテ居  
リマス、現ニ府縣ニ依リマシテハ四人ナリ  
五人ナリノ實際家ニ、縣農事試驗場ノ囑託ト  
カ參與トカ云フ名義ヲ付ケテ、働イテ貰ツ  
テ居ルト云フヤウナコトニモナツテ居リマ  
ス、此ノ點ハ更ニ私共トシテハ強ク進メテ  
參リタイト考ヘテ居ル次第アリマス

○村澤委員 只今ノ御話、大變力強ク感じ  
マシタ、私ノ質疑ハ是デ終リマス

○中村委員長 西川君

○西川委員 大臣ノ出席ノ機會ガアルデセ  
ウネ

○中村委員長 一寸疑問デスガ……  
○西川委員 大臣ノ出席ハ求メヌノデスカ  
○中村委員長 可能ナラオイデヲ願フ積リ  
デアリマス

○西川委員 ソレデハ保留シテ置キマセウ  
○中村委員長 農商省關係ノ人ニ質問ガア  
ツタノデハアリマセヌカ  
○西川委員 アツタノデスガ、村澤君ノ質  
問ニ對スル食糧管理局長官ノ御答辯デ大體  
分リマシタカラ……

○中村委員長 ソレデハ田中勝之助君  
○田中(勝)委員 明日ニシテ戴キタイト思  
ヒマス

○中村委員長 ソレデハ今日ハ此ノ程度デ、  
豫算ノ祕密會ヲオ互ヒニ傍聽スル關係等モ  
アリマスルカラ散會致シマス、明日ノ時刻  
ハ公報ヲ以テ御知ラセ致シマス

午後四時十三分散會